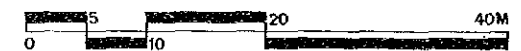
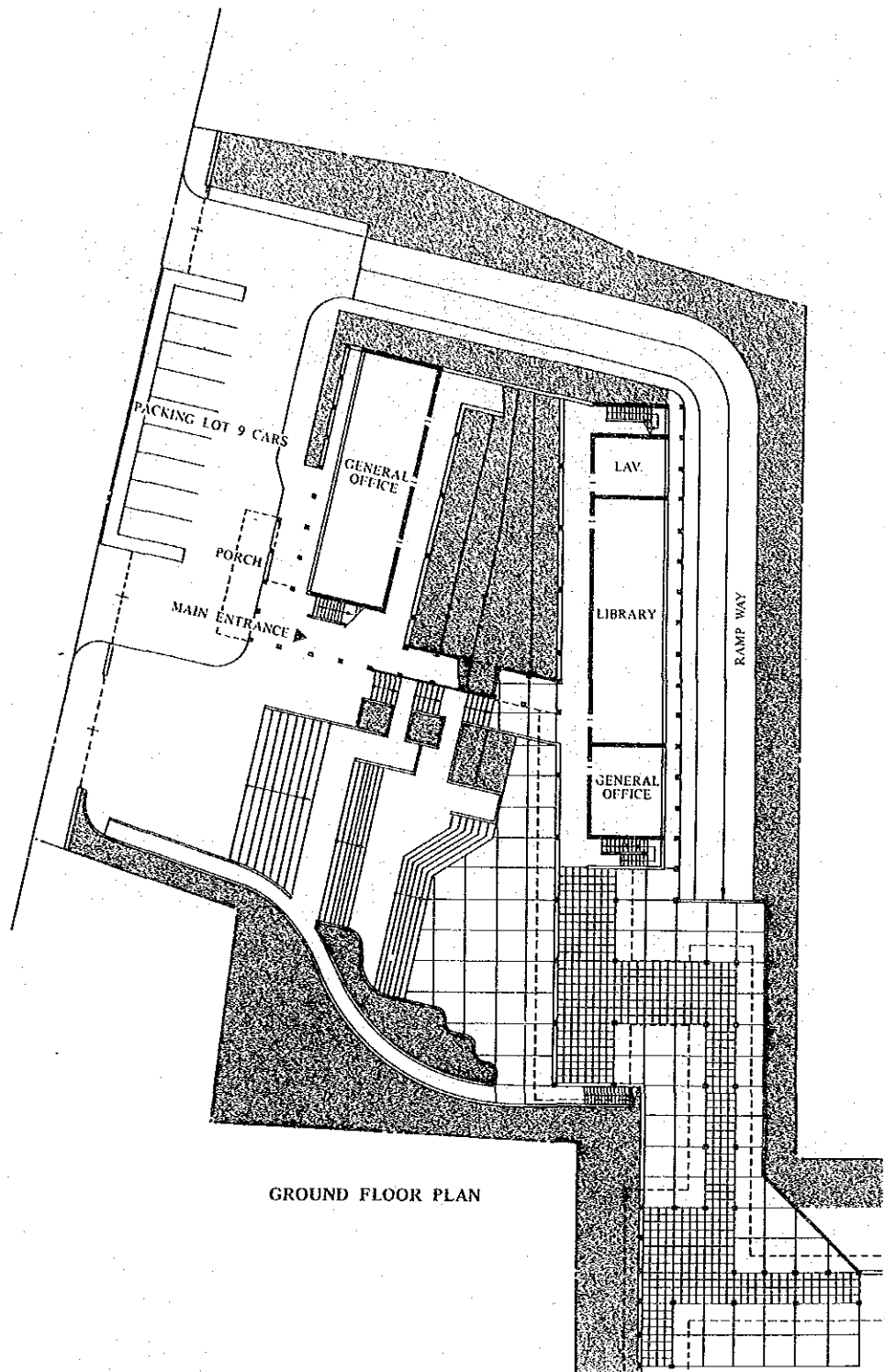
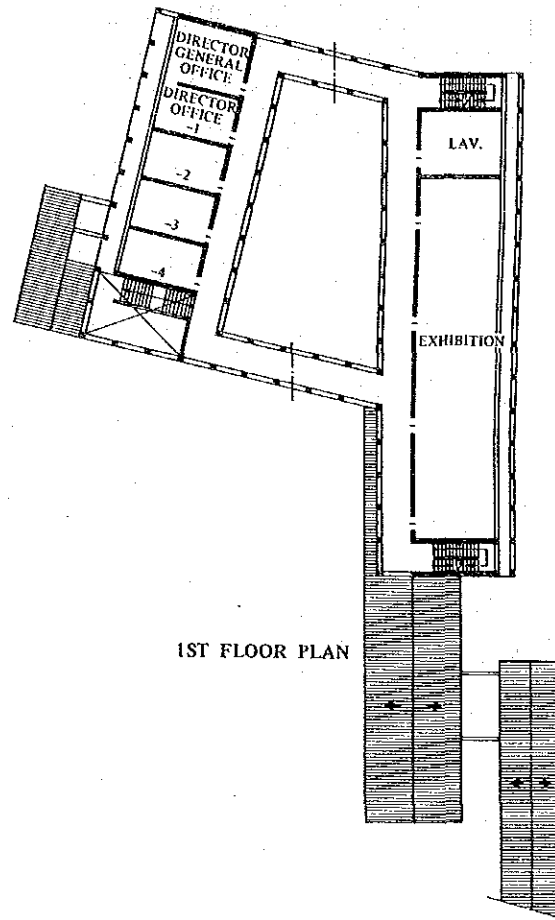


ROOF PLAN

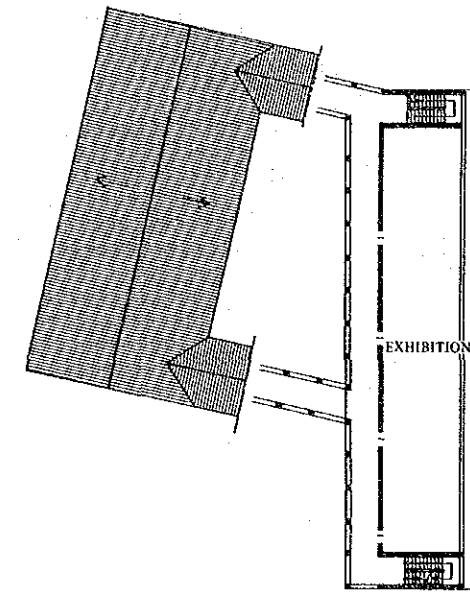




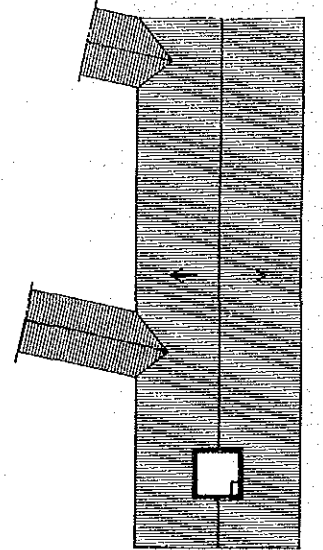
GROUND FLOOR PLAN



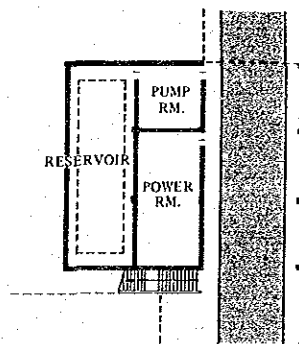
1ST FLOOR PLAN



2ND FLOOR PLAN

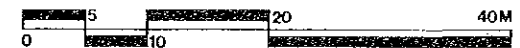


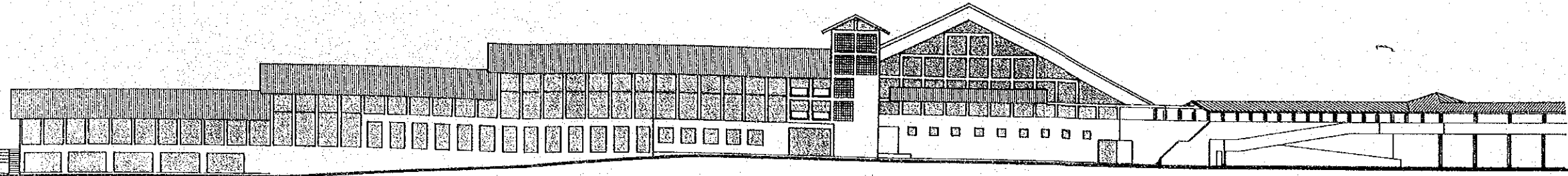
ROOF PLAN



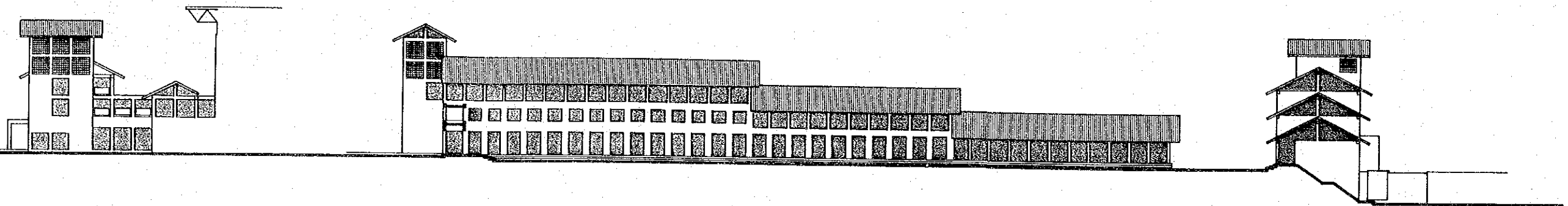
BASEMENT FLOOR PLAN

FLOOR PLAN
(ADMINISTRATION AND EXHIBITION BLDG.)





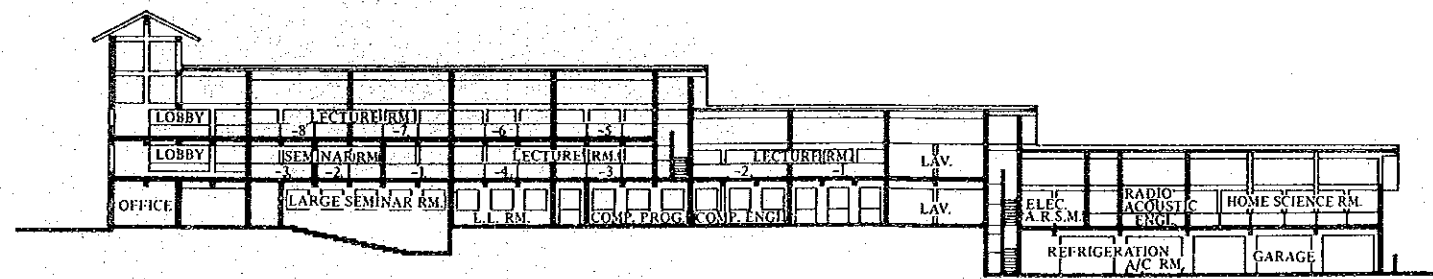
TRAINING BUILDING SOUTH ELEVATION



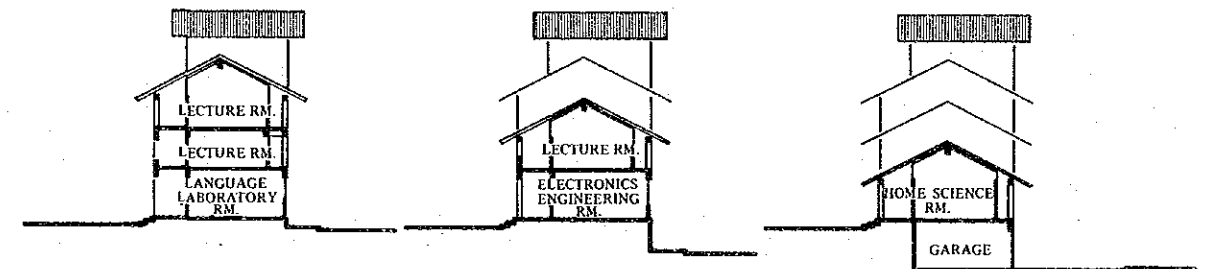
TRAINING BUILDING EAST ELEVATION

TRAINING BUILDING NORTH ELEVATION

TRAINING BUILDING WEST ELEVATION



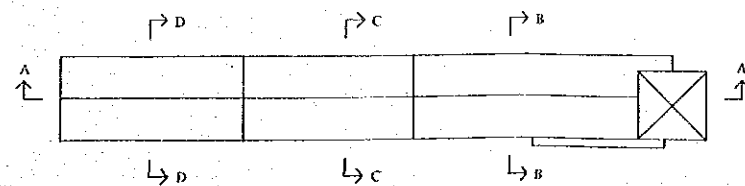
A ~ A SECTION
TRAINING BUILDING



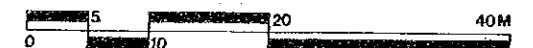
B ~ B SECTION

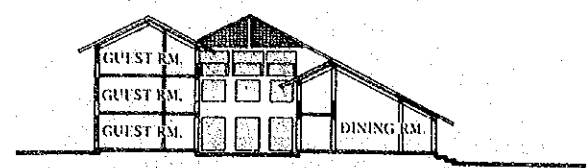
C ~ C SECTION
TRAINING BUILDING

D ~ D SECTION

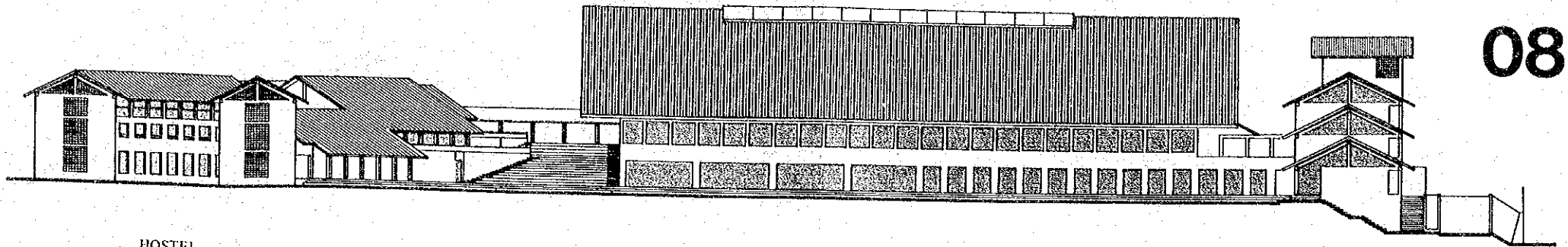


ELEVATION, SECTION





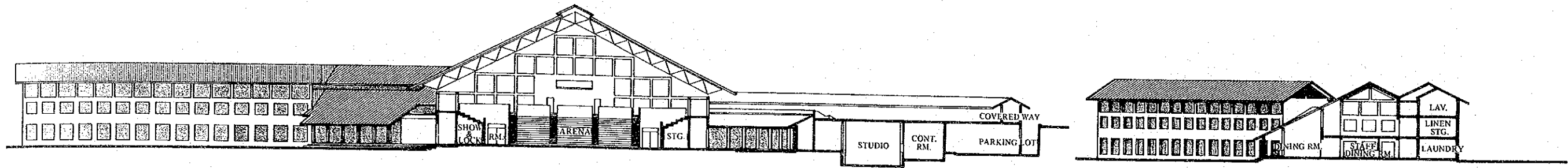
HOSTEL D ~ D SECTION



HOSTEL

MULTI PURPOSE HALL WEST ELEVATION

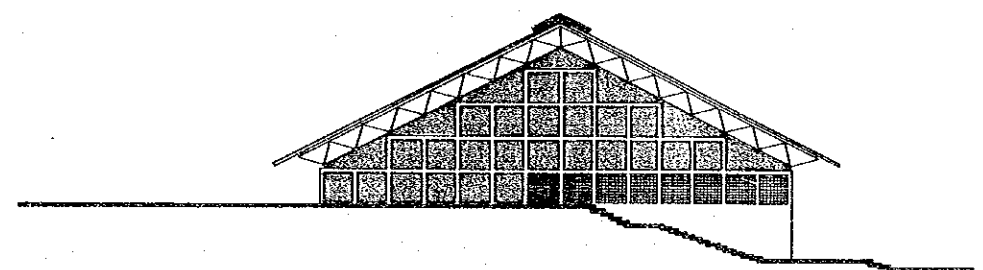
TRAINING BUILDING



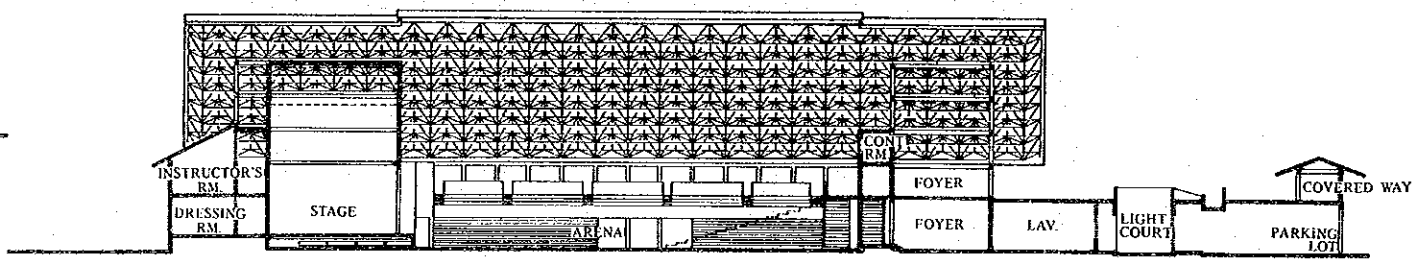
HOSTEL SOUTH ELEVATION

MULTI PURPOSE HALL A ~ A SECTION

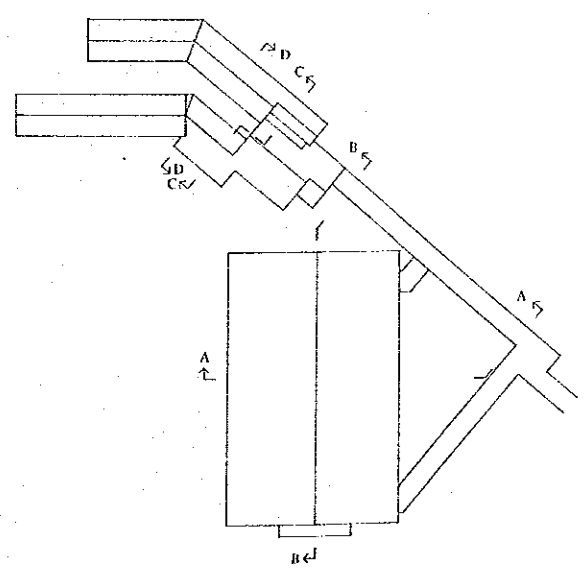
HOSTEL C ~ C SECTION



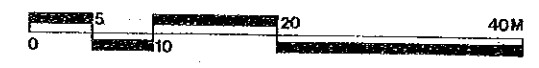
MULTI PURPOSE HALL NORTH ELEVATION 1:300

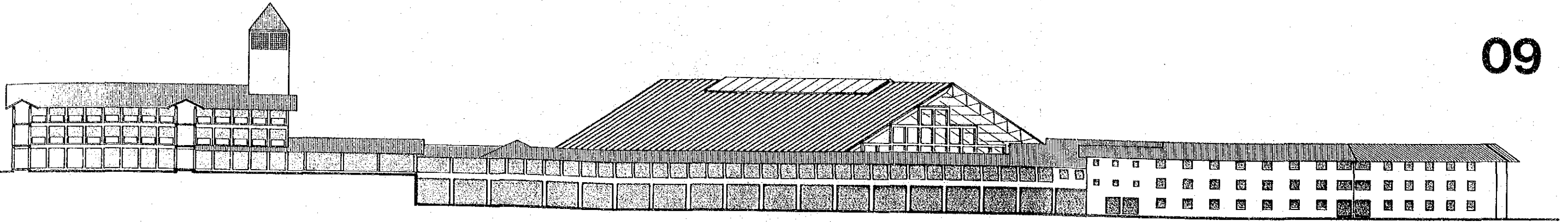


MULTI PURPOSE HALL B ~ B SECTION



ELEVATION, SECTION

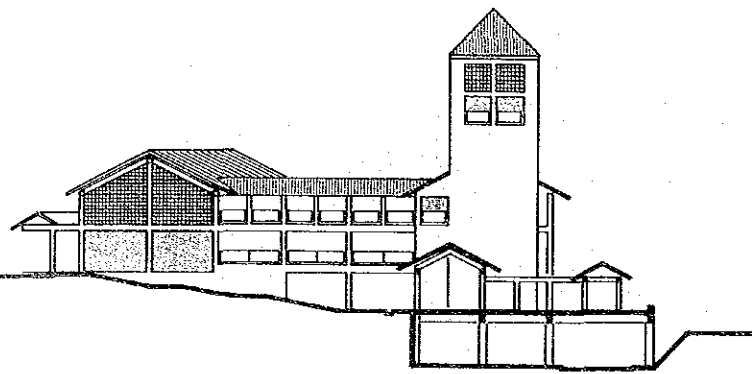




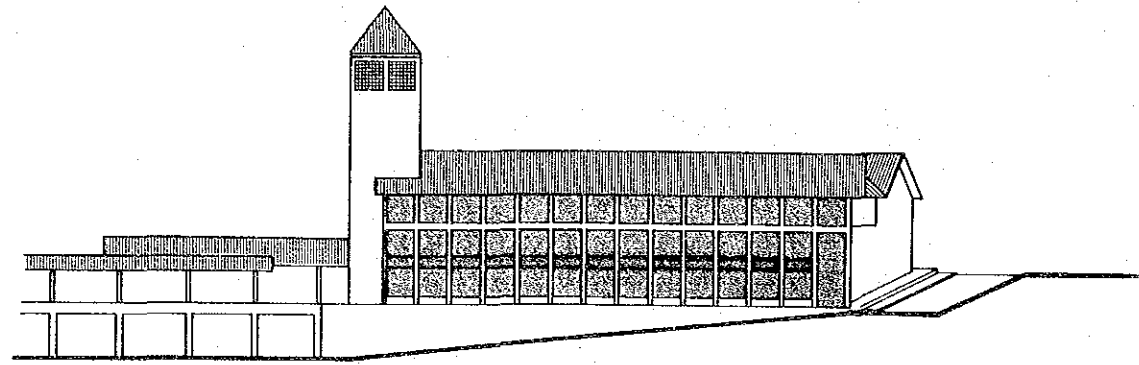
ADMINISTRATION & EXHIBITION BUILDING

MULTI PURPOSE HALL
NORTH ELEVATION

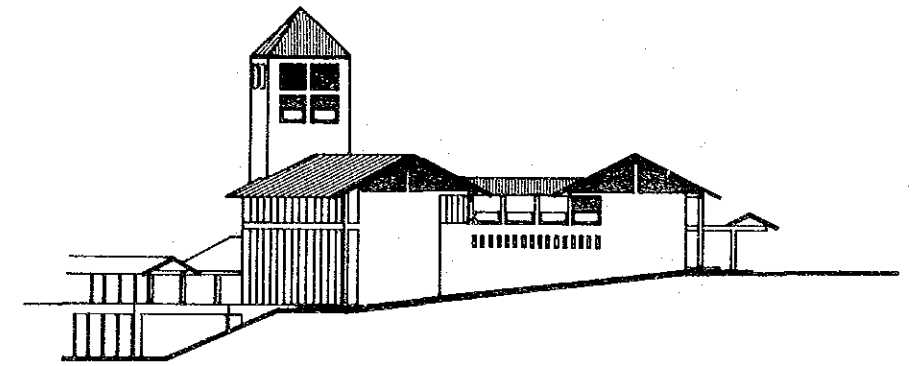
HOSTEL



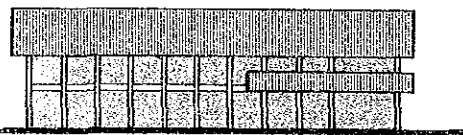
ADMINISTRATION & EXHIBITION BUILDING WEST ELEVATION



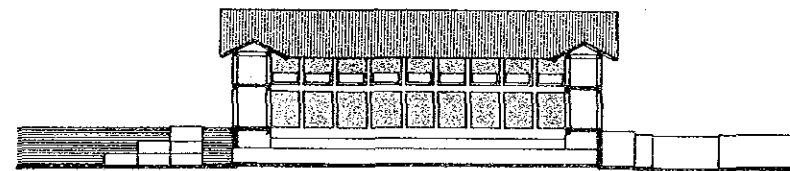
ADMINISTRATION & EXHIBITION BUILDING SOUTH ELEVATION



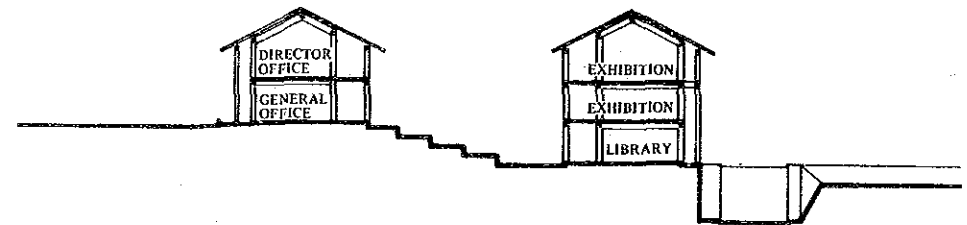
ADMINISTRATION & EXHIBITION BUILDING



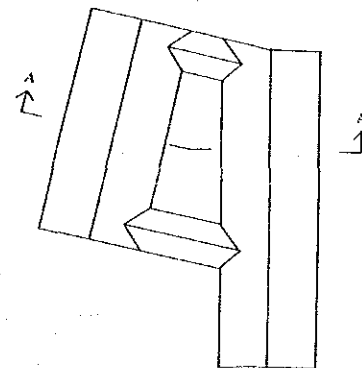
ADMINISTRATION & EXHIBITION BUILDING NORTH ELEVATION



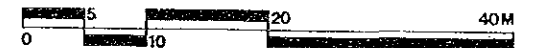
ADMINISTRATION & EXHIBITION BUILDING SOUTH ELEVATION

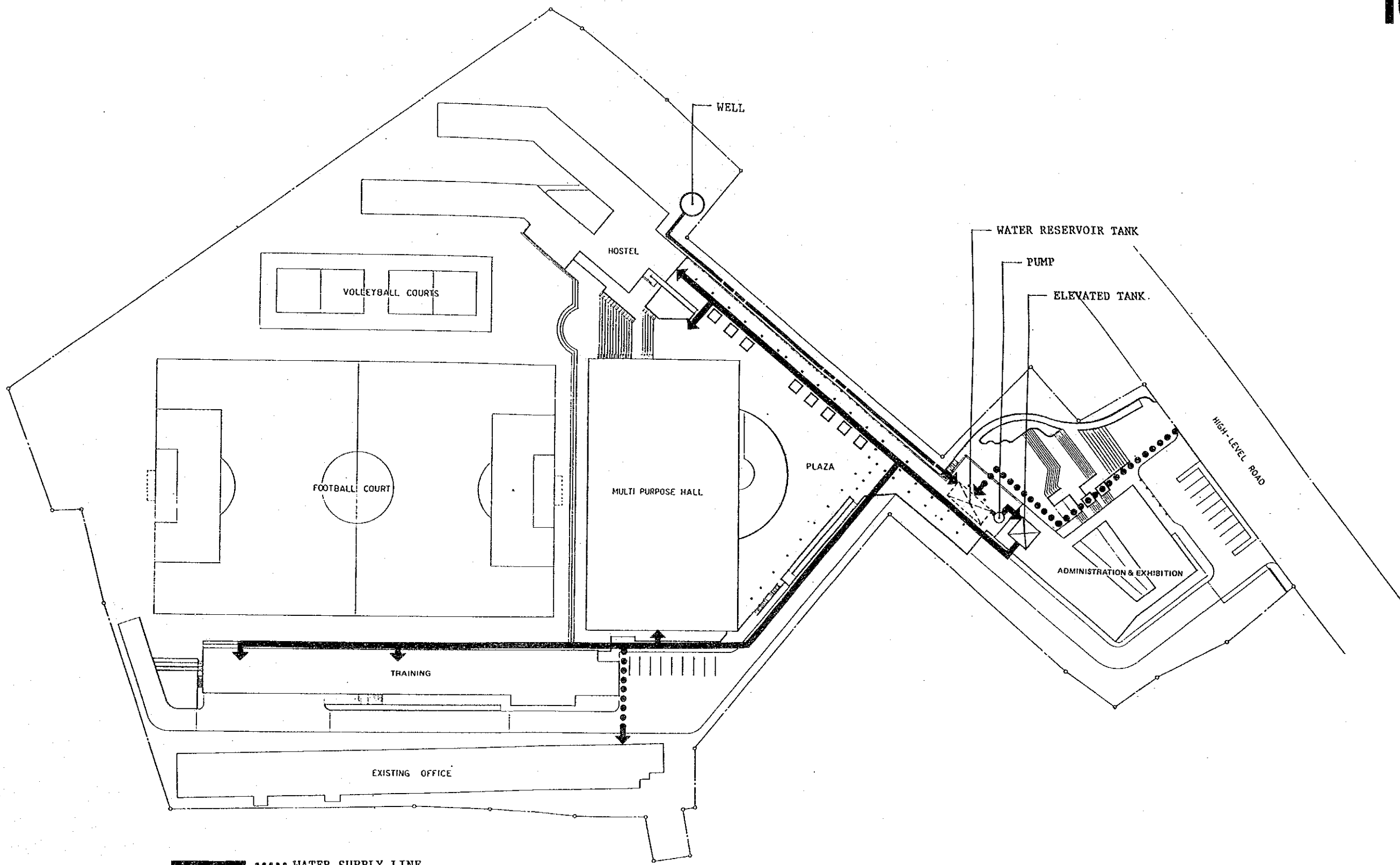


ADMINISTRATION & EXHIBITION BUILDING
A ~ A SECTION



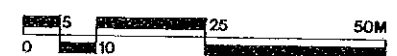
ELEVATION, SECTION
(ADMINISTRATION AND EXHIBITION BLDG.)

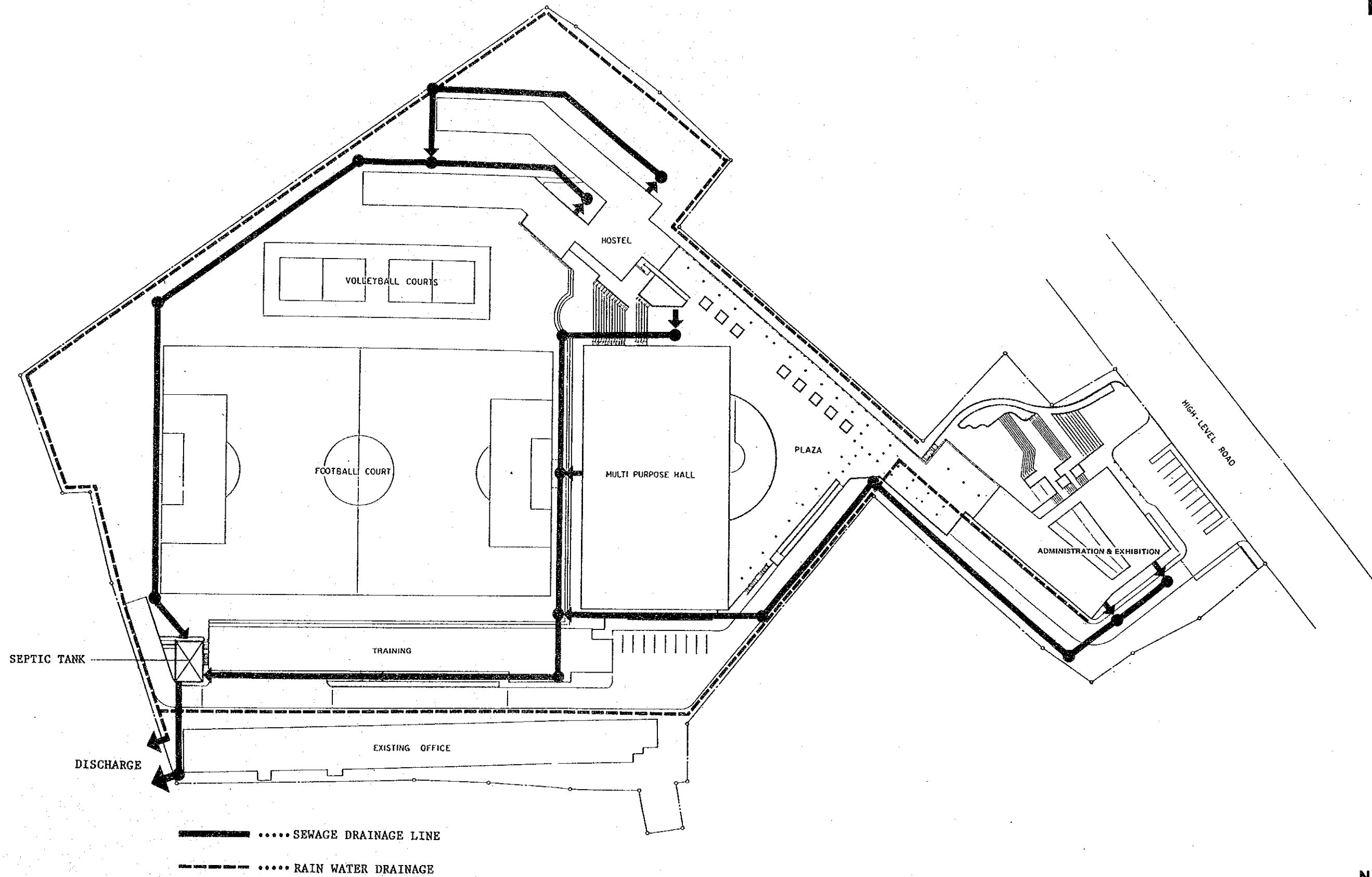




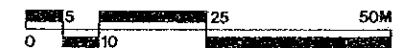
———— WATER SUPPLY LINE
- - - - WATER MAIN FROM WELL
..... EXTENSION LINE (SRI LANKAN SIDE)

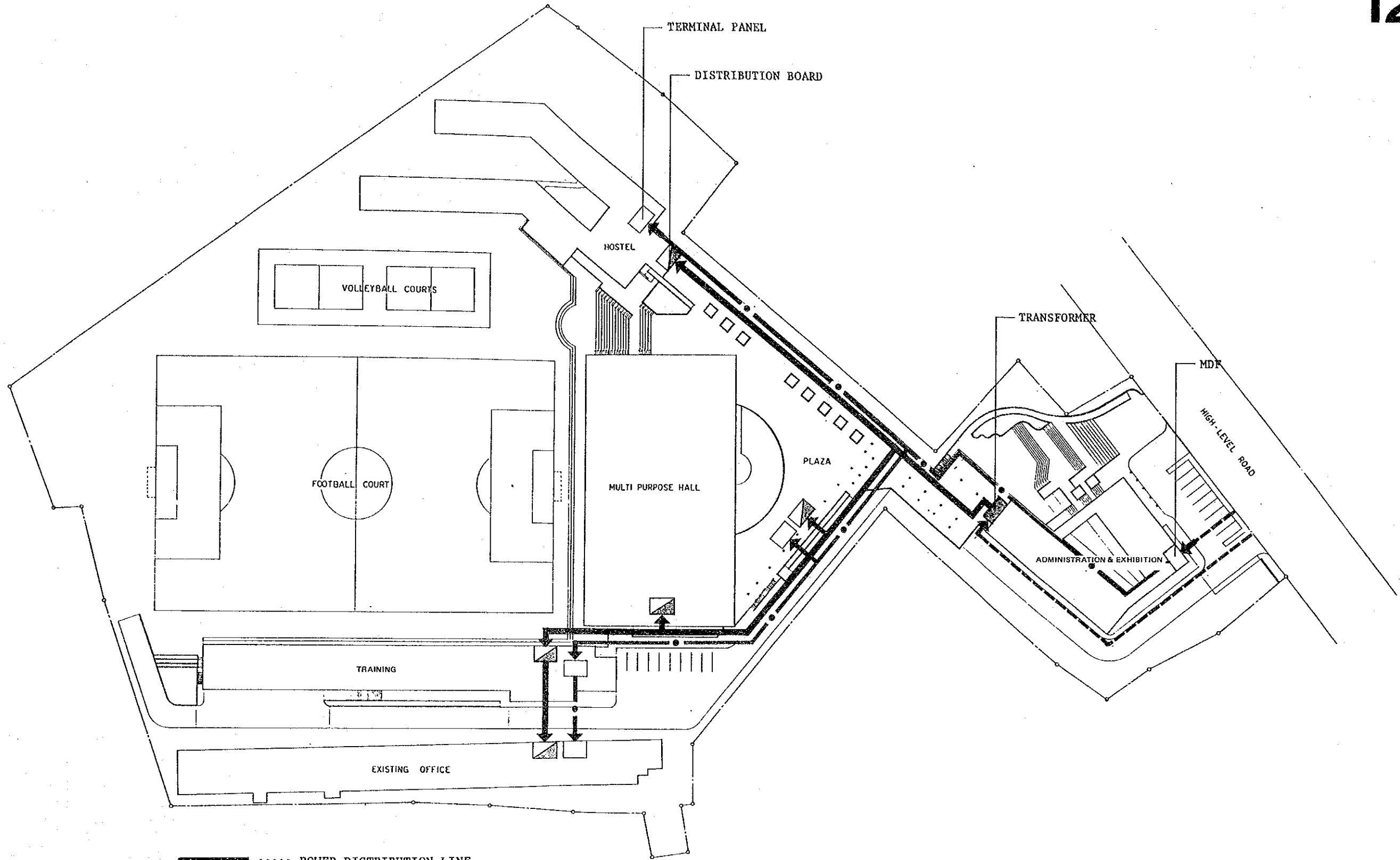
WATER SUPPLY SYSTEM





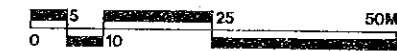
DRANAGE SYSTEM





- POWER DISTRIBUTION LINE
- TELEPHONE MAIN LINE
- - - - - EXTENSION LINE (BY SRI LANKAN SIDE)

ELECTRICITY AND TELEPHONE SYSTEM



第6章 事業実施計画

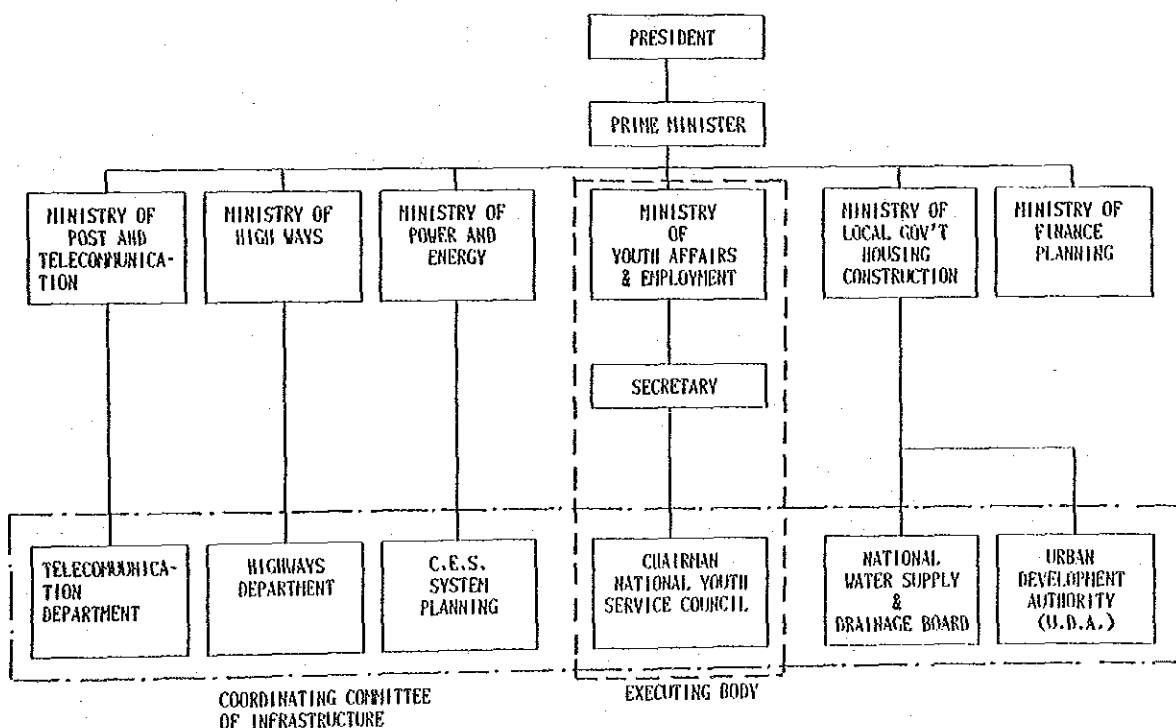
6-1 実施主体

本センター建設の計画・実施にあたってのスリランカ国側の所轄官庁は、青少年雇用省 (Ministry of Youth Affairs and Employment) 管轄下のNYSC (National Youth Services Council) である。青少年雇用省次官兼NYSC会長であるMr. J. Charitha Ratwatte を総括責任者とする建設実行委員会により統轄され、このもとに関係省庁が参加し、建設のための円滑な進捗を計る。

スリランカ国の海外援助受入れ担当窓口の大蔵省 (M O F P) の外国援助局 (Dept. of External Resources) が、我国からの資金協力取極めに関する業務を担当する。

本センター建設のための実施設計・監理契約、工事契約、銀行取極などの無償資金協力方式に基づく契約諸手続きに関しては、上記NYSC会長が契約当事者となり実質業務を行う。

事業主施主体



6-2 施工計画

6-2-1 施工計画

センター建設計画が決定し、両国間で資金協力に係わる交換公文締結後、選定したコンサルタントは青少年雇用省管轄下のNYSCと設計監理契約を結び、NYSCの実行委員会と、基本設計方針に基づいて実施設計、入札、工事契約業務、施工に関して詳細討議、意見調整を充分に行い、両国負担工事の着工が遅滞なく行われ、円滑に建設が行われる事を確認する必要がある。

本センターの建設着工にあたり、工事用仮設動力、給水の供給は既設容量で充当出来るが、スリランカ側負担範囲の本設用電力、電話等の供給は本センターの工事完成前に確実に接続され、円滑に施設が運転されることが望まれる。

又、日本からの調達資機材の現場到着迄の期間と工事工程の取合いや、専門技能工の適切な派遣時期を考慮するなど、手持ち、手戻りのない工程計画とし、予定期間内にバランスよく資材・人材を投入する工程計画が必要となる。

6-2-2 工事監理計画

日本政府の無償資金協力の方針に基づき、コンサルタントは基本設計の主旨を踏まえ、実施設計業務・監理業務について一貫したプロジェクト遂行チームを編成し、順調な施設完成を目指す必要がある。施工監理段階において、コンサルタントは本センター工事現場に適切な技術を備えた現場常監管理者を派遣し、工事指導、連絡を行う他、工事進捗に合わせて必要時期に短期間、専門技術者を出張させ、検査、立会い、施工指導等行う必要がある。

1) 監理計画の主要方針

- ・両国関係機関、担当者と密接な連絡・報告を行い、遅滞なく建設工程に基づく施設の完成を目指す。
- ・設計図書に忠実に施設建設のため、施工関係者に対して適切・迅速な指導・助言を行う。
- ・可能な限り現地資機材による現地工法の採用を優先させる。
- ・施工方法・施工技術等に関しては技術移転を行う姿勢で臨み、無償協力プロジェクトとしての効果を発揮させる。

プロジェクトとしての効果を発揮させる。

- ・施設完成引渡し後の先方保守管理に対し、適切な助言と指導を行い、円滑な運営をうながす。

2) 工事監理業務内容

(1) 工事契約に関する協力

工事施工者の選定、工事契約方式決定、工事契約書案の作成、工事内訳明細書内容調査、工事契約立会い。

(2) 施工図等の検査及び承認

工事施工者から提出される施工図、材料、仕上げ見本、設備資材の検査。

(3) 工事の指導

工事計画、工程などの検討、工事施工者の指導、施主への工事進捗状況報告。

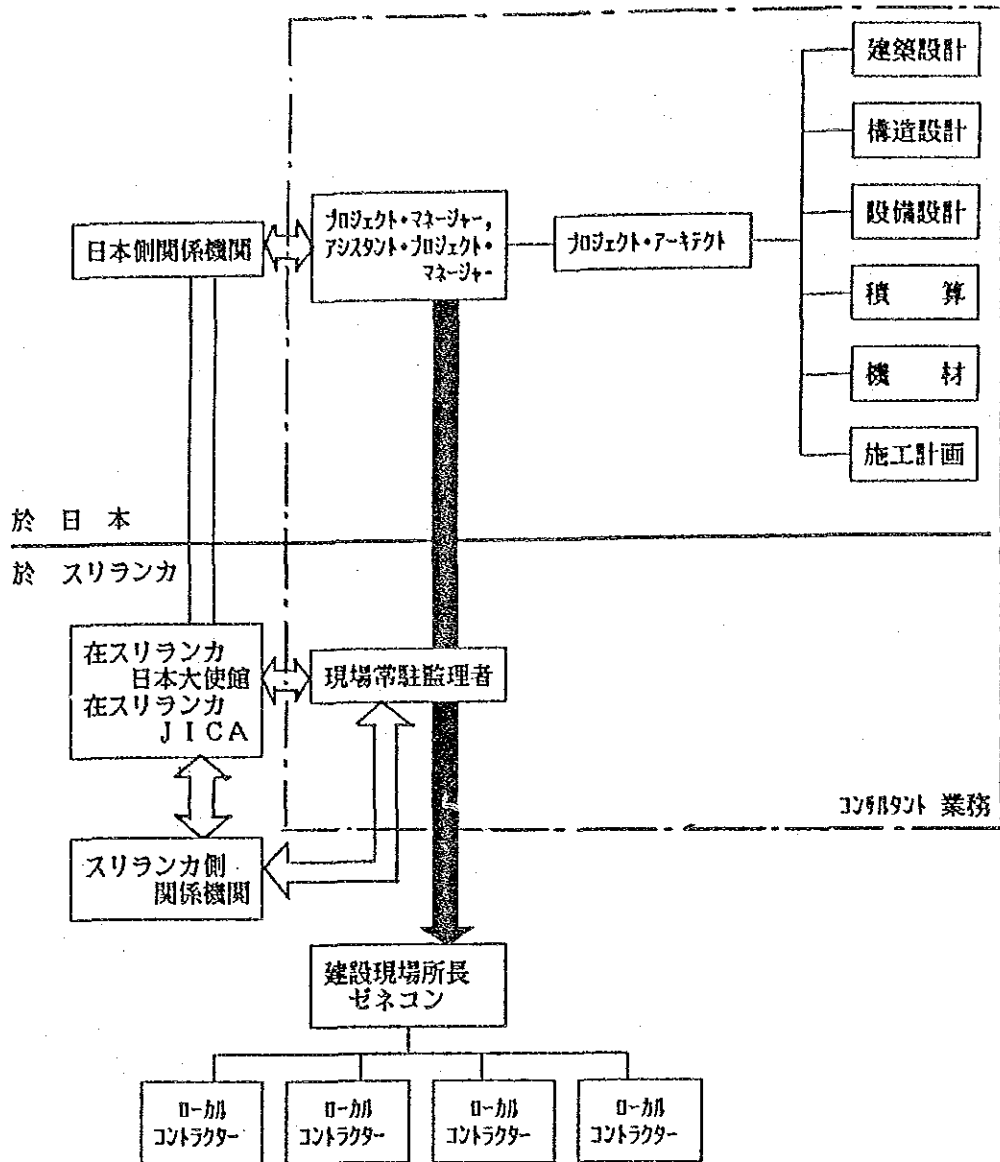
(4) 支払い承認手続きの協力

工事中及び工事完了後に支払われる工事費に関する請求書等の内容検討及び手続きの協力。

(5) 検査立会い

着工から完成迄の建設中の各出来形に対する検査を行い、工事施工者を指導する。コンサルタントは、工事が完了し契約条件が遂行されたことを確認の上、契約の目的物の引渡しに立会い、施主の受領承認を得、業務を完了する。なお、本プロジェクト建設中の進捗状況、支払い手続き、完成引渡しに関する必要諸事項を日本政府関係者に報告する。

施工監理体制



6-3 工事範囲

本センター建設に関する両国負担工事範囲の概要は下記の通りである。

6-3-1 日本政府側負担工事

1) 施設関係

a) 訓練施設

① ワークショップ・実験室

電子工学

電気製品組立て修理

冷蔵庫・空調機修理

コンピューター技術

ビデオ製作

ラジオ・音響製品技術

家庭科

② 講義室 8室

③ セミナー室 4室（内大セミナー室1室）

④ 語学研修室 1室

⑤ 図書室 1室

b) 多目的ホール（体育館） 1,500名収容

及びカフェテリア、附属施設

c) ホステル 200名収容

及び食堂、附属施設

d) 展示ホール 約500㎡

e) センター管理事務室

f) 屋外施設

フットボールフィールド、バレーボールコート

2) 基幹工事関係

a) 給水設備（敷地内）

b) さく井工事

- c) 受変電設備（敷地内）
 - d) 電話交換機設備
- 3) 外構工事関係
- a) 構内道路
 - b) 排水・浄化槽設備
 - c) 屋外灯
- 4) 訓練活動に関する機材
- 5) 関連手続業務等
- a) 日本からスリランカへの資材及び機材輸送業務
 - b) 陸揚げ港から建設地までのスリランカ国内輸送業務

6-3-2 スリ・ランカ政府側負担工事

- 1) 敷地・外構工事関係
- センター建設に必要な敷地確保・整地
 - 駐車場建設
 - 門・塀建設
 - 植栽工事
- 2) 基幹工事関係
- 電力・市水、電話引込み
 - 敷地外への排水路確保
- 3) 什器・備品関係
- 日本側工事負担範囲外の什器・備品・家具等
- 4) 手続業務、費用負担等
- a) 諸費用の負担

- ・銀行取決めに伴う費用
 - ・電力・電話引込みに伴う費用
 - ・免税手続きに伴う費用
- b) 通関及び内陸輸送に係わる迅速な措置
- c) 認証された契約に基づき、計画実施にたずさわる日本人に対して、スリランカ国内で課せられる関税、国内税、その他の財政課徴金に対する免除手続き
- d) 同上の日本人が業務を遂行するためのスリランカ国への入国、滞在に必要な便宜を与えること。
- e) 綿密なる人材配備計画のもとに本計画の運営・管理に必要とされるスタッフを配備すること。

6-4 実施スケジュール

日本政府の無償資金協力により本センター建設が実施される場合、両国間交換公文(E/N)締結後に実施設計図書作成、入札・工事契約、建設工事の3段階を経て施設建設が行われる。

スリランカ政府のE/N締結所轄官庁は大蔵省外国援助局である。

1) 実施設計業務

基本設計をもとに、工事契約図書を作成する。

その内容は詳細設計図、仕様書、計算書、予算書等から成り、基本設計との誤差は10%以内に押えたものである。実施設計期間中に事前、中間、最終の各段階に現地スリランカ側関係機関との打合わせを行い、最終成果品の承認を得て入札業務に進む。

所要作業期間は5ヶ月と予想される。

2) 入札業務

実施設計完了後、日本において工事入札参加資格事前審査(P/Q)を公告により行い、審査結果により実施機関が入札参加施行会社を招へいし、日本に

において開札を行う。開札の際、スリランカ側から本プロジェクト実施担当責任者等が立会うことが期待される。

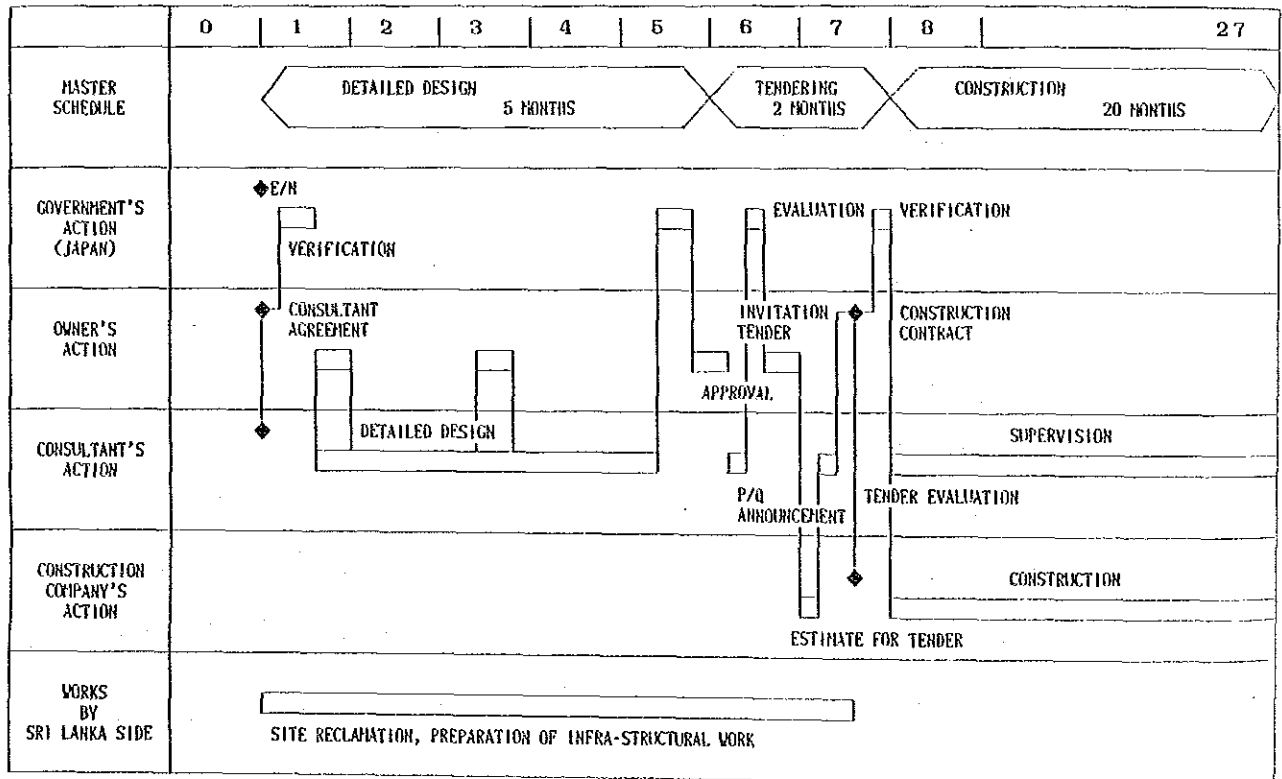
一般競争入札の最低価格提示施工会社と先方国とが工事契約を行う。入札・契約に要する期間は2ヶ月と予想される。

3) 建設工事

工事契約署名後、日本政府の認証を得て工事着工を行う。

本センターの規模・施設内容から判断し、建設資材の調達が順調に行われ、スリランカ政府側負担工事範囲の準備工事が円滑に行われると想定すれば、本センター建設に係わる工期は約20ヶ月と見込まれる。

実施スケジュール



6-5 資材調達計画

本センター建設計画の実施に当たり、1985年7月の基本設計調査時に市場調査を行った。その結果は、巻末資料（スリランカと日本のコスト比較）に示す通りである。建設資材の調達は、コストの低減、施設維持管理の容易性、施設内容から判断し、可能な限り、現地調達可能資材を採用する。本センター建設に使用出来る現地資材及び日本又は第三国から調達する資材は下記の通りである。

	現地調達予定資材	日本及び第三国からの調達予定資材
建築工事	骨材（砂・砂石） セメント（仕上用） コンクリートブロック レンガ 石・タイル テラゾータイル 大波スレート 屋根瓦 木材	セメント（躯体用） 鉄筋 鉄骨 型枠材 防水材 金属建具・建具金物 木製建具 ガラス 塗料 内装材 特殊加工品
換気工事	ビニール管	換気扇 鉄管・鉄板
給排水衛生工事	ビニール管 コンクリート管 衛生陶器（ロカライ）	バルブ・配管類 ポンプ 衛生陶器
電気工事	ビニール管	変圧器 配電盤 電話交換機 電線・ケーブル 照明器具 弱電機器

6-6 運営維持管理計画

本センターの事業実施主体であるNYSCは、本部の主要部門をコロombo市内の民間建物に置くが、施設が狭小であるために、他の部門は、本センター建設予定地にある建物に分かれて事業を行っている。

NYSCの活動目的は、青少年教育訓練事業を広範に担い進めることにあり、本センターの設立は、その活動の全国的な拠点を得ることになる。

本センターの運営自体がその意味で、NYSCの主要な業務となるものであり、NYSCでは、業務の一体化、効率化をはかることから、本センター設立に際し、現在コロombo市内にある主要部門を本センター内に移動することになっている。従って、本センターの運営維持管理は、NYSC本部自体が直轄でこれにあたることになり、本センターの設立に併って新規に採用する職員数を極力少くし、人件費の増額が抑えられることになる。又、現在借用している施設のレンタル料を免れることにもなる。

本センターは宿泊施設を併せ持ち、青少年の研修のみならず、NYSCの地方職員の研修、訓練が計画されているが、これらのプログラムも、文字通り、本施設である本センター内で実施できることとなり、その効率が期待されている。

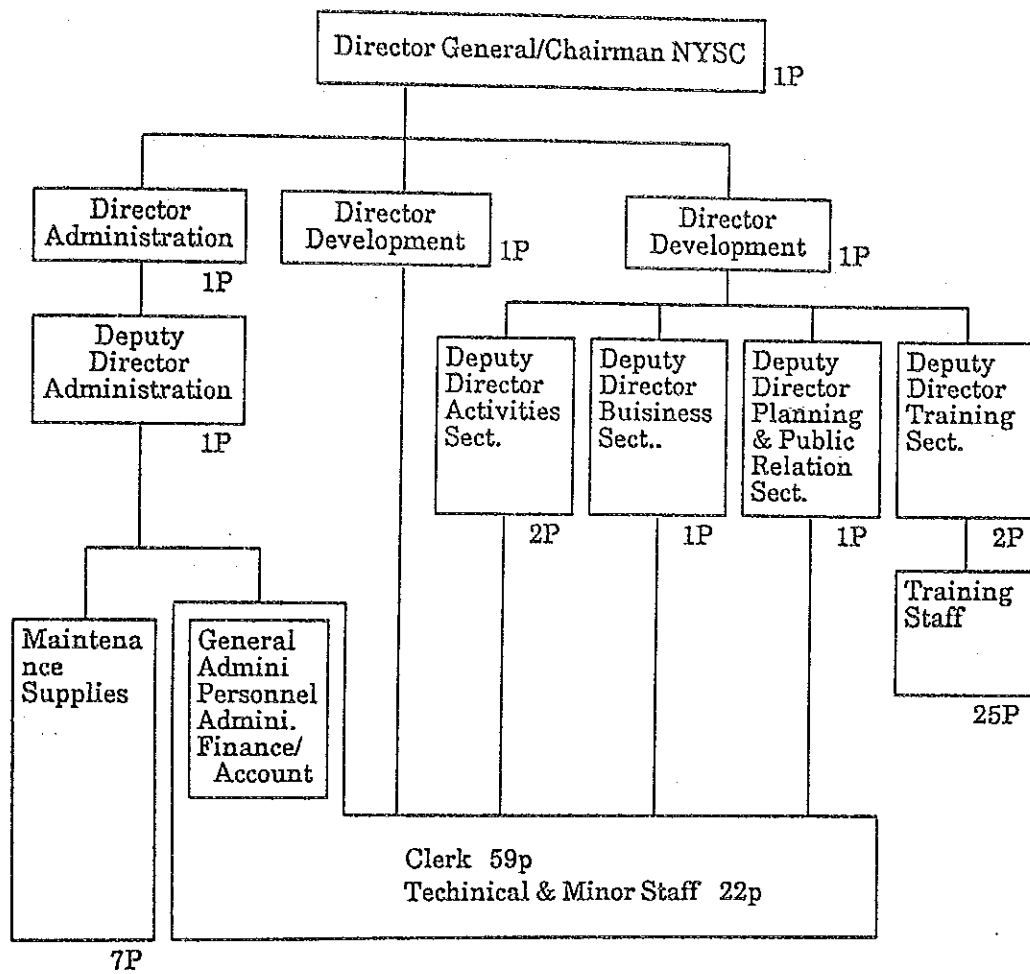
本センターの運営維持管理に対するNYSCの以上の構想は、建物完成後の円滑な維持運営と、目標に沿った活動を展開するうえで、より実際的かつ、具体的であることが目指されている。

(1) 運営維持管理体制

NYSC本部より、会長以下70名が本センターに移動し、本部業務と本センターの管理業務にあたる。この他、職業訓練スタッフ、メンテナンス用員、宿舎作業用員等、新規に採用する人員54名が予定されており、併せて、124名が本センターの職員となる。

(図6.6.1参照)

図 6. 6. 1 NYSCスタッフの組織と構成



(2) 運営維持管理計画

建物は、維持管理の容易さを配慮し計画されることは無論であるが、建物管理・設備機器並びに訓練機材の運転取扱い・保守管理方法については、引渡し時点で説明を行う。方法としては、本センターの各部門管理担当者、メンテナンス技術者に対し、施設・機材の取扱維持管理要領書を提示説明し、デモンストレーションを行うなどして適切な維持管理の方法を提案・指導する。施設建物管理方法については、使用方法、清掃保守方法を指導し、設備機器及び機材は使用方法・適正運転時間・保守点検方法を指導する。施設・機材の修理・補修・備品調達が必要に応じ、引渡し後の管理担当者、工事担当者、代理店等の連絡先を提示する。

以上の維持管理方法に基づき、カリキュラムや施設・機器の利用時間を併せ、本センターの機能を有効に発揮できる維持管理計画を策定し、かつその費用を青少年雇用省が、年次ごとに予算措置する必要がある。

(3) 運営維持管理費用

本センターの運営に必要な経費、施設維持管理費、施設運転経費などは、青少年雇用省予算にて賄われる予定である。

調査及び収集資料の分析から、年間維持経費（平均ベース）を試算すると次のように見込まれる。

人件費（新規採用54人分）	R s .	5 0 0 , 0 0 0 . -
施設運転光熱費（平均需要率60%）		1, 4 0 0 , 0 0 0 . -
施設・機材保守管理費		5 0 0 , 0 0 0 . -
教育訓練教材、活動事業費		8 0 0 , 0 0 0 . -
計	R s .	3, 2 0 0 , 0 0 0 . -

6-7 概算事業費

本青少年教員訓練センターでの活動内容、利用計画を解析し、本施設の構造規模、設備方式を策定すると、建設工事に要する費用は、概ね下記の通りと見込まれる。

1) 概算積算条件

- | | |
|------------|--|
| a) 概算算出時点 | 1985年9月現在 |
| b) 外国為替交換率 | 1 US\$ = 240円 |
| c) 工事期間 | 約20ヶ月 |
| d) 施工会社 | 日本法人 |
| e) その他 | 日本政府の無償資金協力範囲での現地における建設用資材及び教育訓練用機材の輸入に関する関税及び日本法人施工会社にかかる事業税の免除事項を含む。 |

2) 日本政府側負担工事費

日本側負担工事の概算事業費総額は2,900百万円と見込まれる。

3) スリランカ政府側負担工事費

a) 建設敷地 確保・整地	完了	ルピー
b) 門、フェンス工事及び植栽工事		1,000,000.-
c) 電力、電話引込工事		500,000.-
d) 家具、什器		1,000,000.-
計		2,500,000. ルピー

(25百万円)

第7章 事業評価

スリランカ国青少年教育訓練センター建設計画プロジェクトの実施による社会的、経済的評価を行うと以下の通りである。

1) 社会・経済評価

1978年より同国ジャヤワルダナ政権のとりくんでいる積極的な経済開発政策は、マハヴェリ河水資源開発計画、自由貿易区、都市更新住宅計画を中心にした大規模な公共投資を核とするものであった。

これらの大プロジェクトは、これまでの農林業にのみ頼ったモノカルチャー経済と、生活活動の低迷から脱皮し、雇用の創出、水資源の保全、農業生産、工業生産、輸出の拡大、農村、都市地域の開発に大きなインパクトを与えるものである。この経済開発政策は1978年以降の高い経済成長率に見るように成果をあげてきたといえるが、毎年の労働力参加数と依然として残る失業者を吸収できるには至っていない。しかも、この間に起きた人種間抗争と過激派による破壊暴力活動に見られる社会的ひずみを生じたことも事実である。これらの社会的不安要因は同政権の推進する経済開発政策に一定の困難な要因となっているが、同政権は長期安定政権の基盤を固めつつ、一層の経済の発展と社会の安定を目指す政策を進めようとしている。

このような状況のもとで、幅広く青少年層を国造りに結集させてゆくことは極めて重要な課題となっており、同国政府は、学校教育の充実と、青少年の育成訓練に力を注いでいる。

今日、同国青少年の社会に対する最大の不満は就職できないことにあるといわれており、中でも教育のある失業青年の不満は深刻である。従って、青少年の社会教育は、職業訓練の機会を広げ就職と自営への道を拓く雇用促進事業を中心に据えると共に、文化活動やスポーツ・レクリエーション活動の積極的な振興を通して、青少年の様々な欲求や潜在的な不満を解消し、社会の発展と国造りにむけての認識と自覚を高める努力が行われている。

青少年・雇用省の下部機関、就中NYS Cが中心となって進める青少年の育成のための諸活動は地域青年クラブへの参加を通して近年全国で大きな広がりを見せてきている。

しかしながら、現在青少年のための社会教育、文化活動の施設は絶対的不足の状態にあって、活動の振興と発展にとって大きな障害となっている。

本プロジェクトの実施により、スリランカにおける青少年教育訓練活動は、その核となる最初の施設を有することになり、現在進められている事業の一層の発展を促すことは明らかである。しかも本センターに設けられる職業訓練コースが今日ますます需要の高くなって来ている分野であることから、同国青少年の必要に効果的に応えることが期待できるものである。

更に、本プロジェクトの実施により便益を受けるのが、単に青少年層に限られず、一般の社会教育の場として、広く市民、各階層に及ぶことの意義は大きい。同種関連の社会教育・文化施設として、中華人民共和国の援助によって立てられたバングラナイケ記念国際会議場、西独によるスリランカ・ファウンデーション・インスティテュートと並び、各々貢献する分野と活動を別にしつつ、本センターが代表的な三つ目の施設となることの意義は深く、有効性は高い。

2) 財 政 評 価

■ 建設費用

本プロジェクトの実施にかかる事業費は、調査団の積算に基づく両国の負担工事分の合計で、2,925百万円と予定される。このうち、スリランカ側の負担する費用は基幹工事等約15百万円と付器・備品調達費約10百万円の合計25百万円になると想定される。このうち基幹工事費は基本的にマハラガマ地区の地域開発費から全額支出されることになっている。NYSC自体の1985年度の予算は総額でRs. 36,000,000（約3億5千万円）であり、このうち施設整備拡充費用としてはRs. 4,000,000（4千万円弱）が計上されている。

年間予算の規模からみると、これまでNYSCがその事業を展開するに必要な施設の建設と拡充を行うことが、いかに困難であったかを示しており、今後の青少年教育、文化活動の発展に対し、施設面で応えてゆけない状況にあることを明らかにしている。本施設が、宿泊部門を持つ青少年教育訓練施設としてスリランカ全地域の青少年の利用を可能とし、1500人を収容するホールが屋内体育館としても活用できる多目的ホールとして設けられることは、年間の有効な利用効率を高めるものであり、建設に要する事業費は十分にその効果を生み出すものと評価される。

● 運 営 費 用

本センターの施設は、地域の自然条件を考慮しつつ、最小限の維持費で運営できるものとして計画されている。本センターの運営にかかる年間維持運営費はRs. 3,200,000（3千万円）と予想される。内訳は人件費としては、基本的にN.Y.S.C.の本部スタッフが本センターに移り、これを直接管理運営することから、新たに雇用する人員の人件費としてRs. 500,000-、光熱費を含む維持費Rs. 1,400,000-、この他に、施設・機材保守管理費Rs. 500,000-、教材活動事業費Rs. 800,000-、となっている。維持費、事業費等は現在N.Y.S.C.が施設借用費、同維持費として予算化しているRs. 1,300,000-と、N.Y.S.C.本部活動事業費Rs. 600,000-をこれに充当することで運営されることになる。従って、本センターの運営維持費として、N.Y.S.C.が新たに予算化する必要がある負担増としてはRs. 1,300,000-と想定される。

3) 運営管理体制評価

本センターの管理運営の組織体制は新たに人員を要することなく、N.Y.S.C.の会長が直接、管理責任者として運営にあたる。関連各部の企画運営についても、現在のN.Y.S.C.の各局長が担当する計画となっている。

この管理運営の組織体制は、現在のN.Y.S.C.の展開する教育・訓練各事業の実際の活動が本センターを核として行われるようになることを考えた場合、妥当なものと思われる。

第8章 結論と提言

1 結 論

スリランカ国の経済・社会開発にむけて青少年層の教育と育成は極めて重要な課題である。特に青少年層の雇用促進と社会教育の発展に大きく寄与することを目的とした本プロジェクトは、最も需要の高い雇用分野の職業コースを設けることと、社会教育訓練施設の絶対的不足に応えるということにおいて、極めて具体的で援助効果の高いものである。青少年教育の拡充に対し、日本国政府が先に実施したマトラ教員養成学校建設と併せ、制度教育と社会教育の両面から援助を行うことの意義は極めて大きいものと言える。

長期的には、本センターが同国青少年教育、文化、スポーツ諸活動の最初の中心施設として、全国の事業と活動を牽引することが期待される。

2 提 言

1) 青少年教育活動の企画と評価の体制

これまでの同国青少年分野の活動の大きな発展と、これに応える施設の不足状態からみて、施設が有効に利用されることが十分に予測されるが、より効果的で、社会の要請に応えた青少年教育を推進するための日常的な追求が、同センター運営組織としてなされることが重要である。このためには、センターとして、青少年の動向を深くつかみ、ニーズに適切に応える企画が実施される日常的な調査が必要である。又、実施した事業と企画に対する評価が詳細に行われる体制が不可欠である。今回、基本設計調査を行った範囲からは、これまでの事業と活動に対する総括的資料が整っているようには見受けられなかった。実施した事業の目的、対象者、レベル、成果の追跡を綿密に行うこと、これらの作業の積み重ねの上にならば、より有効な事業展開が可能となるものである。

2) プロジェクト実施体制の確立

本センターの建設にむけて、実施に関連する関係機関の担当者を網羅した委員会がNYSCの下に設置されることになっている。よりスムーズに建設事業を進めるために実施主体であるNYSCが上述の委員会を十分機能させ、実施期間中の関連官庁と

の調整業務を速やかに進めることが望まれる。

3) 予算の確保

本センター建設にかかる費用、並びに運営にかかる費用を確保することは、事業の遂行にとっての要となるものである。本センターが初期の目的を達成するために、N Y S Cが必要な予算の確保を、時期を失することなく行うことが望まれる。

4) 施設保守の体制

これまで同国公共施設の保守体制は、電気、設備等の関連する省庁の技師がその都度向いて施設の維持にあたるが多かった。本センターは規模の大きさからも、センター内に独自に維持管理能力のある担当スタッフを常駐、配置すべきであり、施設の保守が常時、臨機応変に行われる体制が確立されることが望まれる。スタッフの選定は施設完成以前の早期になされることが必要である。

5) スタッフの確保

本施設の管理運営 (Administration) に関しては先述したが、実習訓練コースのスタッフをはじめ新たに雇う必要のある人員の確保については事前になされることが要望される。特に、電子工学・技術研修コース、コンピューター教室に関しては現在同国が技術者の要請を近年になって始めた分野であるためインストラクターも決して多くない。従って、その確保につき、不足のないよう施設完成と同時にコースが開設される準備がなされることが強く望まれる。

資料編 I

- 1 調査団の派遣
- 2 ミニッツ
- 3 建設予定地関係資料
- 4 維持管理運営費資料
- 5 教育訓練機材リスト
- 6 類似施設の現況

1 調査団の派遣

本センターの計画・設計に当たり、基本設計調査及び確認調査のため、下記調査団が派遣された。

1) 調査団の構成

○基本設計調査団（1985年6月18日～7月8日）

団	長	遠藤英夫	国際協力事業団無償資金協力計画調査部長
無償資金協力		佐合純造	外務省経済協力局無償資金協力課課長補佐
建築計画		松村修	(株)久米建築事務所
建築設計		竹内明彦	"
構造		梅野岳	"
設備計画		中林茂	"
機材計画		児玉耕二	"

○確認調査団（1985年9月28日～10月7日）

団	長	遠藤英夫	国際協力事業団無償資金協力計画調査部長
建築計画		松村修	(株)久米建築事務所
建築設計		竹内明彦	"
機材計画		児玉耕二	"

2) 調査協力者

本プロジェクトの調査に当たり、次の関係者の協力を得た。

○スリランカ側関係者

■Ministry of Finance & Planning

Mr. A. Mohameed: Director, Department of External Resources

Mr. Senarat Weerapana: Asst. Director, Department of External Resources

■Ministry of Youth Affairs and Employment

Hon. Minister Ranil Wickremesinghe:

Mr. J. Charitha Ratwatte: Secretary (NYSC Chairman 兼務)

Mr. Lalith Weeratunga: Asst. Secretary

■ National Youth Services Council (NYSC)

Mr. J. Charitha Ratwatte: Chairman

Mr. S. M. Weerasena: Deputy Director (Administration)

Mr. Benedict Kumaraige: " (Development I)

Mr. P. D. Jayaweera: " (" III)

Mr. C. R. Ekanayake: " (Technical Services)

■ NYSC Gangamaya Training Center

Mr. G. Nanisara: Director of Centre

■ NYSC Belwood Training Centre

Mr. M. M. Somadasa Napa: District Youth Service Officer

■ Maharagama Town Council

Mr. Sarath Kamarasiri: Electrical Forman

Mr. L. H. M. Dayananda: Superintendant of Work

■ U. D. A (Urban Development Authority)

Mr. Prasona Gunawardene: Deputy Director

Mr. Dharumasiri: Architect & Planner

■ C. E. B (Ceylon Electricity Board) Western Div.

Mr. N. Wickramasuriya: Divisional Development Engineer

■ National Water Supply & Drainage Board

Mrs. H. S. V. Wickramage: Asst. General Manager (Plan & Design)

○日本側関係者

■ 在スリランカ日本大使館

特命全権大使 大 鷹 弘

参事官 小 嶋 光 昭

一等書記官 伊 丹 光 則

■ J I C A コロンボ事務所

所 長 橋 口 次 郎

笹 子 実 (J O C V 駐在員)

白 鳥 清 志 (" 調整員)

3) 調査団行程

基本設計調査団行程(1985年6月18日~7月8日)

日順	月日	曜日	行程	調査内容
1	6月18日	火	17:20 東京発 TG741 21:20 バンコック着	・団長(6月16日先発)と合流
2	6月19日	水	10:50 バンコック発 12:30 コロンボ着 14:00 JICA 16:00	・調査予定、調査方針打合せ (伊丹書記官、橋口JICA所長、 笹子職員)
3	6月20日	木	8:30 市内 14:00 15:30 於 サイト 16:30 16:30 於 コッテ 17:30 19:30 於 オベロイ ホテル	・市内調査 ・建設地調査 ・スリジャヤワルダナプラ総合病 院視察 ・NYSC会長パーティー
4	6月21日	金	10:00 於 外国援助局 10:30 於 日本大使館 11:40 於 JICA 14:30 於 16:30 国会議事堂 19:30 於 オベロイ ホテル	・表敬訪問 ・大鷹大使表敬訪問 ・国内打合わせ ・青少年雇用省大臣表敬訪問 ・青少年雇用省兼文部省大臣パー ティー
5	6月22日	土	10:00 於マトラ 18:30	・団長、佐合、竹内団員 マトラ教員養成学校起工式出席 ・残留団員ホテルにて資料分析
6	6月23日	日	14:00 16:30 於ホテル 18:30	・団長他コロンボへ帰着 ・国内会議

日順	月 日	曜 日	行 程	調 査 内 容
7	6月24日	月	10:00 於青少年雇用省 17:30	・要請内容検討打合せ
8	6月25日	火	10:00 於コッテ 11:00 市 内 12:30 於コロombo港 15:00 市 内 16:00 " " 16:30 " " 19:00	・スリジャヤワルダラ 総合病院視察 施設内容、活動内容聴取 ・Rupavahini Corp (TV局) 視察 施設内容、活動内容聴取 ・円借コロombo頭プロジェクト視察 ・NYSC Gangamayaトレーニングセンター視察 施設内容、活動内容聴取 ・Lionel Wendt Gallany視察 ・Royal Jounior College 視察 ・橋口JICA所長招宴
9	6月26日	水	9:00 於青少年雇用省 17:30	・要請内容分析討議 質疑応答 ・中林、梅野団員(後発班) コロombo着
10	6月27日	木	9:00 同 上 於 NYSC 10:45 於 サイト 14:30 於 BMICH 15:30 16:00 於青少年雇用省 17:00 19:00 於 公邸	・ミニッツドラフト内容討議 ・NYSCオフィス視察 ・建設敷地調査 (NYSC会長他立会い、Maharagama Town Council打合わせ) ・バンダラナイケ・メモリアルホール視察 ・ミニッツドラフト作成 内容確認 ・大鷹大使招宴
11	6月28日	金	9:30 市 内 11:30 市 内 14:30 於青少年雇用省	・スリランカ・ファウンデーション・インスティテュート視察 ・TVトレーニングインスティテュート視察 ・国立競技場視察 ・ミニッツ署名 (NYSC会長 Mr. Ratwalle 調査団遠藤団長)

日順	月 日	曜 日	行 程	調 査 内 容
1 1	6月28日	金	19:00 於 タジホテル	・スリランカ駐在海外建設業協会 パーティ
1 2	6月29日	土	9:00 } 15:00 於 } ベルウッド 16:30 於 } キャンディ	・コロンボ→キャンディ (伊丹書記官、橋口JICA所長、 笹子職員同行) ・NYSC Belwood Training Center 施設内容、活動内容視察 ・Central Agricultural Research Institute 視察 ・キャンディ泊
1 3	6月30日	日	9:00 於 } キャンディ 10:30 " } 15:00 }	・ペラデニヤ教員病院視察 ・Univ. of Ceylon ペラデニヤキャンパス工学部 視察 (伊丹書記官コロンボへ) ・キャンディ→ヌアラエリア ・ヌアラエリア泊
1 4	7月1日	月	9:00 於 }ヌアラエリア 9:30 } 15:00	・箱根植木カーネーションファーム視察 ・ヌアラエリア→コロンボ
1 5	7月2日	火	9:30 於 } 外国援助局 11:00 市 内 } 19:00 於 パネル } 21:00 }	・調査結果報告 ・市内調査、国立博物館視察 ・調査団長主催パーティー ・小嶋参事官招宴
1 6	7月3日	水	9:30 市 内 } 10:30 市 内 } 11:50 12:40 市 内 } 14:30 於 } 青少年雇用省	・団長、佐合、児玉団員 (コロンボ→バンコック) ・CEB 電力公社打合せ ・National Water Supply & Drainage Board 上下水道公社打合せ ・UDA 都市開発公社打合せ ・質疑応答討議

日順	月 日	曜 日	行 程	調 査 内 容
17	7月4日	木	9:00 於 サイト 10:00 於 モラツナ } 11:30 13:00 市 内 } 14:10 於 } 青少年雇用省 15:00 於 ホテル }	<ul style="list-style-type: none"> ・ 団長他帰国 (バンコック→東京) ・ 敷地調査 ・ Ceylon German Technical Institute 視察 ・ U. D. A. 打合せ (法規則etc.) ・ 資料収集 ・ “ 整理分析
18	7月5日	金	9:00 於 ホテル } 11:30 14:00 於 } 青少年雇用省 15:00 15:15 於 JICA } 16:00 16:05 於 } 日本大使館 16:30	<ul style="list-style-type: none"> ・ スリランカ側提供資料分析 [梅野団員ポーリング調査依頼] 於 青少年雇用省 ・ 同上内容質疑応答 追加資料要請打合わせ ・ JICA橋口所長に調査結果報告 ・ 小嶋参事官、伊丹書記官に調査結果報告
19	7月6日	土	9:00 於ホテル } 12:00 14:00 於サイト } 18:00	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料整理 ・ 敷地及び敷地周辺簡易測量、調査
20	7月7日	日	13:25 コロンボ発 } TG308 18:30 バンコック着	<ul style="list-style-type: none"> ・ 残留団員 (松村、竹内、中林、梅野) コロンボ発
21	7月8日	月	8:05 バンコック発 } LH640 15:40 東京着	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同上帰国

基本設計確認調査団行程 (1985年9月28日～10月7日)

日順	月 日	曜 日	行 程	調 査 内 容
1	9月28日	土	10:45 東京発) TG625 17:30 バンコック着	
2	9月29日	日	10:30 バンコック発) TG307 12:15 コロンボ着	
3	9月30日	月	9:00 JICA 10:00 日本大使館 11:30 外国援助局 14:00)	<ul style="list-style-type: none"> ・調査予定打合わせ、基本設計ドラフトリポート説明(橋口JICA所長、笹子職員) ・同上(伊丹書記官) 大鷹大使表敬 ・表敬訪問 ・市内補足調査、及団内打合わせ
4	10月1日	火	9:00) 青少年雇用省 17:00	<ul style="list-style-type: none"> ・基本設計ドラフトリポート内容説明質疑応答
5	10月2日	水	9:00) 青少年雇用省 12:00 13:00) モロトワ 15:00 15:30) マハラガマ 16:30 17:00 ロイヤル) カレッジ 19:00	<ul style="list-style-type: none"> ・同上 ・セイロン-西独職業訓練学校(CGTTI)見学 ・建設敷地調査 ボーリング位置確認 ・スリランカ海軍/日本海上自衛隊ジョイントコンサート見学
6	10月3日	木	7:00) バタンガラ 12:30 14:00) 青少年雇用省 17:00	<ul style="list-style-type: none"> ・NYSCバタンガラ訓練センター視察 ・ミニッツドラフト内容討議
7	10月4日	金	10:30) 青少年雇用省 12:00 14:00) 市内 17:00	<ul style="list-style-type: none"> ・ミニッツ署名 (NYSC Mr. C. Ratwatte/遠藤調査団長) ・市内補足調査

調査団の派遣

日順	月 日	曜 日	行 程	調 査 内 容
8	10月5日	土	9:00 ↓ 12:00 15:00 アート ↓ ギャラリー 16:30 19:30 ホテル ↓	・資料整理 ・スリランカ青少年科学技術発 展見学(主催: JICA ALUMINI ASSOCIATION) ・調査団長主催パーティ
9	10月6日	日	13:15 コロンボ発 ↓ TG308 18:00 バンコク着	
10	10月7日	月	11:30 バンコク発 ↓ JL492 18:45 成田着	

2 ミニッツ

- 1) 基本設計調査時 (1985年6月28日署名)
- 2) 基本設計確認調査時 (1985年10月4日署名)

MINUTES OF DISCUSSIONS
 ON
 BASIC DESIGN STUDY
 ON
 THE ESTABLISHMENT OF
 THE NATIONAL YOUTH CENTRE
 IN THE DEMOCRATIC SOCIALIST REPUBLIC OF
 SRI LANKA

Japan International Co-operation Agency (JICA), an official agency responsible for implementation of technical co-operation programme of the Government of Japan, has conducted the basic design study on the National Youth Centre Project (the Project) in close consultation with the Sri Lankan authorities concerned, from June, 19th to July 7th, 1985. The team headed by Mr. Hideo Endo, Director, Grant Aid Planning and Survey Department, JICA, carried out a field survey, held a series of discussions and exchanged views with the Sri Lankan delegation, authorized by the Government of the Democratic Socialist Republic of Sri Lanka, headed by Mr. J. Charitha Ratwatte, Secretary, Ministry of Youth Affairs & Employment and Director General of Youth Services.

Both parties confirmed the result of the discussions attached herewith.

28th June, 1985
 Colombo

Hideo Endo

Mr. Hideo ENDO
 Leader
 Japanese Study Team

J. Charitha Ratwatte

.....
 Mr. J. Charitha Ratwatte
 Secretary, Ministry of
 Youth Affairs & Employment and
 Director General of Youth Services
 Chairman, National Youth
 Services Council.

1. The objective of the Japanese Grant Aid Programme is to provide necessary building, facilities and equipment for the establishment of the National Youth Centre. (hereinafter referred to as "the Centre").
2. The proposed site of the Project is the land acquired by the Government of Sri Lanka (hereinafter referred to as "the Project Site"). The Project Site is shown in Annex I.
3. The objectives of the activities of the Centre are:
 - to promote goodwill and mutual understanding between youth in Sri Lanka and in other countries;
 - to widen the knowledge of youth and to give training in fields relevant to development;
 - to encourage cultural, literary and artistic activities among youth;
 - to provide recreational facilities for youth;
 - to provide opportunities for the participation of youth in the formulation and implementation of policy;
 - to develop the inherent characteristics of the individual youth.
4. The Japanese Study Team will convey to the Government of Japan the desire of Sri Lanka Government that the former takes necessary measures to co-operate by providing the building and other items listed in Annex II within the scope of Japanese economic co-operation programme in grant form.
5. The Sri Lankan side has understood Japan's grant aid system explained by the Team which includes a principle of use of a Japanese consultant firm and a Japanese general constructor for the construction of the Centre.

H-Z

W

6. Major undertakings to be taken by both Governments for construction of the Centre are shown in Annex III.

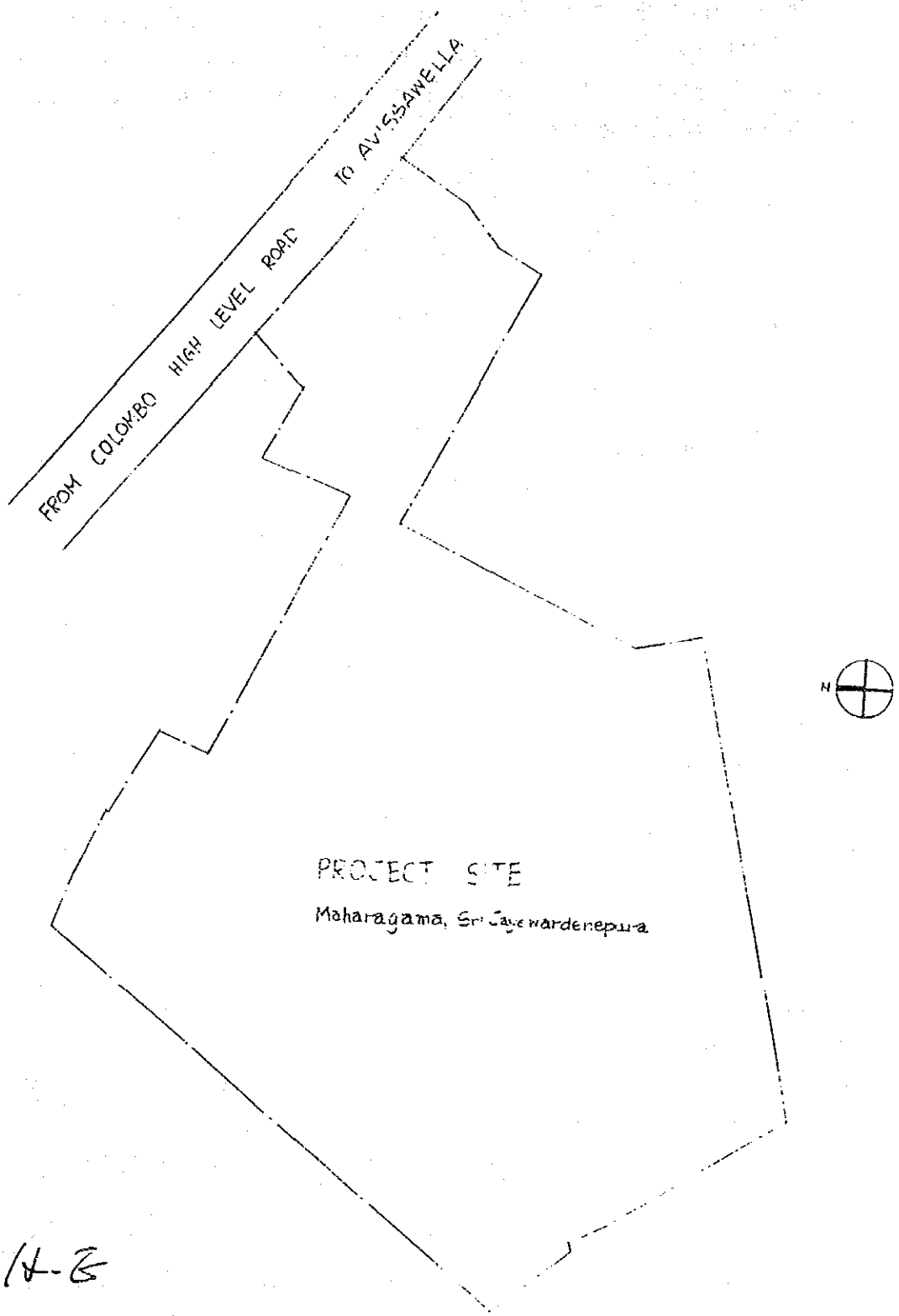
7. The Japanese side will prepare the Conceptual Design of the Centre based on the study and the discussions made with the Sri Lankan authorities to be allocated under the Japanese Grant Aid Programme.

H.E

W

ANNEX I

Project Site



H-3

R

ANNEX II

Items confirmed by both sides:

1. Facilities :

a. Training facilities:

Workshops and Laboratories for:

- Electronics
- Electronic appliances assembly, repairing, servicing and maintaining
- Refrigeration and Air conditioning
- Computer engineering and programming
- Video production
- Radio and Acoustic engineering
- Home Science

10 Lecture rooms

04 Seminar rooms

01 Language laboratory

01 Library

b. Multi-purpose hall (Gymnasium)

Seating capacity of 1,500

Cafeteria and auxilliary facilities

c. Hostels for 200 residents

Canteen and auxilliary facilities

d. Exhibition hall of 500m² approximately

e. Administration office for the Centre

f. Out door facilities

Foot ball field, Volleyball courts

- * Sri Lankan side has requested to have a smaller size of tartan track instead of a 400m track due to the limited available land.

2. Related equipment for training activities:

H-E

Q1

ANNEX III

Major undertakings to be taken by both Governments

	Japanese Side	Sri Lankan Side
1. To secure a lot of land		○
2. To clear, level and reclaim the site when needed		○
3. To construct the gate and fence in and around the site		○
4. To construct the parking lot and develop the landscape in the site		○
5. To construct the road		
1) Within the site	○	
2) Outside the site		○
6. To construct the building	○	
7. To provide facilities for distribution of electricity, water supply, drainage and other incidental facilities		
1) Electricity		
a. Distributing line to the site		○
b. Drop wiring and internal wiring within the site	○	
c. Main circuit breaker and transformer	○	

H-8

Ch

	Japanese Side	Sri Lankan Side
2) Water Supply		
a. City water distribution main to the site		○
b. Supply system within the site (receiving and elevated tanks)	○	
3) Drainage		
a. Drainage city main (for storm, sewer and others) to the site		○
b. Drainage system (for toilet sewer, ordinary waste, storm drainage and others) within the site	○	
4) Telephone System		
a. Telephone trunk line to the main distribution frame/panel (MDF) of the building		○
b. MDF and the extension after the frame/panel	○	
5) Furniture and Equipment		
a. Furniture for office		○
b. Project equipment and furniture for public facilities and rooms	○	

A.Z

21

	Japanese Side	Sri Lankan Side
8. To bear the following commissions to the Japanese foreign exchange bank for the banking services based upon the B/A.		
1) Advising commission of A/P		○
2) Payment commission		○
9. To ensure unloading and customs clearance at port of disembarkation in recipient country		
1) Marine (Air) transportation of the products from Japan to the recipient country	○	
2) Tax exemption and customs clearance of the products at the port of disembarkation		○
3) Internal transportation from the port of disembarkation to the project site	○	
10. To accord Japanese nationals whose services may be required in connection with the supply of the products and the services under the verified contract such facilities as may be necessary for their entry into recipient country and stay therein for the performance of their work		○
11. To maintain and use properly and effectively that the facilities constructed and equipment purchased under the Grant		○
12. To bear all the expenses other than these to be borne by the Grant.		○

14-2

Qi

MINUTES OF DISCUSSIONS
ON
THE DRAFT FINAL REPORT OF BASIC DESIGN STUDY
ON
THE NATIONAL YOUTH CENTRE PROJECT
THE DEMOCRATIC SOCIALIST REPUBLIC OF SRI LANKA

In response to the request of the Government of the Democratic Socialist Republic of Sri Lanka to the Establishment Project of the National Youth Centre (the Project) under Japan's Grant Aid, The Japan International Co-operation Agency (JICA) despatched a mission to Sri Lanka to conduct the basic design study on the Project from 19th June to 7th July 1985.

The mission carried out field survey and held a series of discussions with the authorities concerned of the Government of Sri Lanka.

As a result of the survey and discussions JICA prepared a Draft Final Report on the Study and despatched a mission to discuss on the Report with the Sri Lankan side from 28th September to 7th October, 1985.

Both parties have confirmed the result of discussions attached herewith.

4th October, 1985

Hideo Endo
.....
HIDEO ENDO
LEADER - DRAFT FINAL REPORT TEAM
OF BASIC DESIGN STUDY

J. Charitha Ratwatte
.....
MR. J. CHARITHA RATWATTE
SECRETARY - MINISTRY OF
YOUTH AFFAIRS & EMPLOYMENT
CHAIRMAN - NATIONAL YOUTH
SERVICES COUNCIL

N-G.

N

ATTACHMENT

MAJOR POINTS OF UNDERSTANDING

1. The following activities will be provided, in addition to those confirmed in the Minutes of Discussions dated 28th June, 1985, in the National Youth Centre.

- 1.1 Cultural Activities

The multi-purpose hall will provide facilities for dramatic and musical performances and theatrical rehearsing.

In 1985 NYSC has a plan to hold dramatic and musical performances in Colombo area as shown in the attached sheet.

- 1.2 Sports Activities

- 1.2.1 Training

Following training courses will be organized and NYSC has a desire that the instructors be provided by JOC when necessary.

14-2.

2

- Training courses in Volley Ball
 - Training courses in Basketball
 - Training courses in Judo
 - Training courses in Karate
 - Training courses in Wrestling
- 1.2.2 Matches of the above-mentioned games and arts will be organized.
- 1.3 At the exhibition hall
- 1.3.1 Permanent exhibition of the history of the people of Sri Lanka, their life styles, cultural heritage and the development plan and process of the country will be provided.
- 1.3.2 Changing exhibition of painting, sculpture, handicraft; etc. by the youth will be provided, which are held regularly by NYSC using various places in Colombo at high rental.
2. The Sri Lankan side has principally agreed to the basic design proposed in the Draft Report.
3. The Final Report (10 copies in English) will be submitted to the Sri Lankan side by the end of November 1985.

HG.

al

4. The Sri Lankan side understood the system of Japan's Grant Aid Programme and the undertakings to be taken by both Governments for realization of the Project as shown in the following list.

Major undertakings to be done by both Governments

	Japanese Side	Sri Lankan Side
1. Acquisition of construction land area		o
2. To construct the buildings Administration and exhibition building, Training building, Multi Purpose Hall, Hostel	o	
3. Outdoor facilities Football field Volleyball courts	o	
4. To construct the parking lot		o
5. To construct the gate and fence around the site		o
6. To develop the		

17.5.

Q

- landscape and planting
in the site 0
- 7. Related equipment for
training activities
and furniture
 - 1) Related equipment for
training activities 0
 - 2) General furniture 0
- 8. To provide facilities
for distribution on
electricity, drainage
and other incidental
facilities
 - 1) Electricity
 - a Distributing line to
the site 0
 - b Internal wiring 0
 - 2) Drilling well and
water supply 0
 - 3) Drainage within
the site 0
 - 4) Telephone System
 - a Telephone line incoming
to the main distribution
panel in the building 0
 - b MDF and the extension
after the main
distribution panel 0

146.

Q1

CULTURAL & YOUTH FESTIVALS

Project	No. of Projects	Period	Duration	District Code	Allocation
New Year - Sinhala & Hindu	01	April	1 day	02	Rs. 10,000.00
Deepavali	01	November	1 day	15	Rs. 1,000.00
Easter Sunday	01	April	1 day	01	Rs. 1,000.00
Vesak	01	May	1 day	13	Rs. 1,000.00
Poson	01	June	1 day	20	Rs. 1,000.00
Hadji	01	September	1 day	24	Rs. 1,000.00
Thai Pongal	01	January	1 day	15	Rs. 1,000.00
Christmas	01	December	1 day	02	Rs. 1,000.00
Exhibition of Arts, Crafts and Sculpture	01	July	4 days	01	Rs. 25,000.00
Youth Award Festival	01	December	1 day	01	Rs. 50,000.00
Year-End Festival	01	December	1 day	01	Rs. 10,000.00
Youth Days	25	--	1 day	(in 25 districts)	Rs. 50,000.00
Youth Festivals	24	--	3 days	(in 24 districts)	Rs. 148,000.00
Repairs to Stages	--	--	--	--	Rs. 10,000.00
Hiring of Stages	--	--	--	--	Rs. 20,000.00
Cultural Unit (Horana Sripali)	--	--	--	--	Rs. 5,000.00
Drama Festivals	--	--	--	--	Rs. 5,000.00
T O T A L					Rs. 340,000.00

142

2

3 建設予定地関係資料

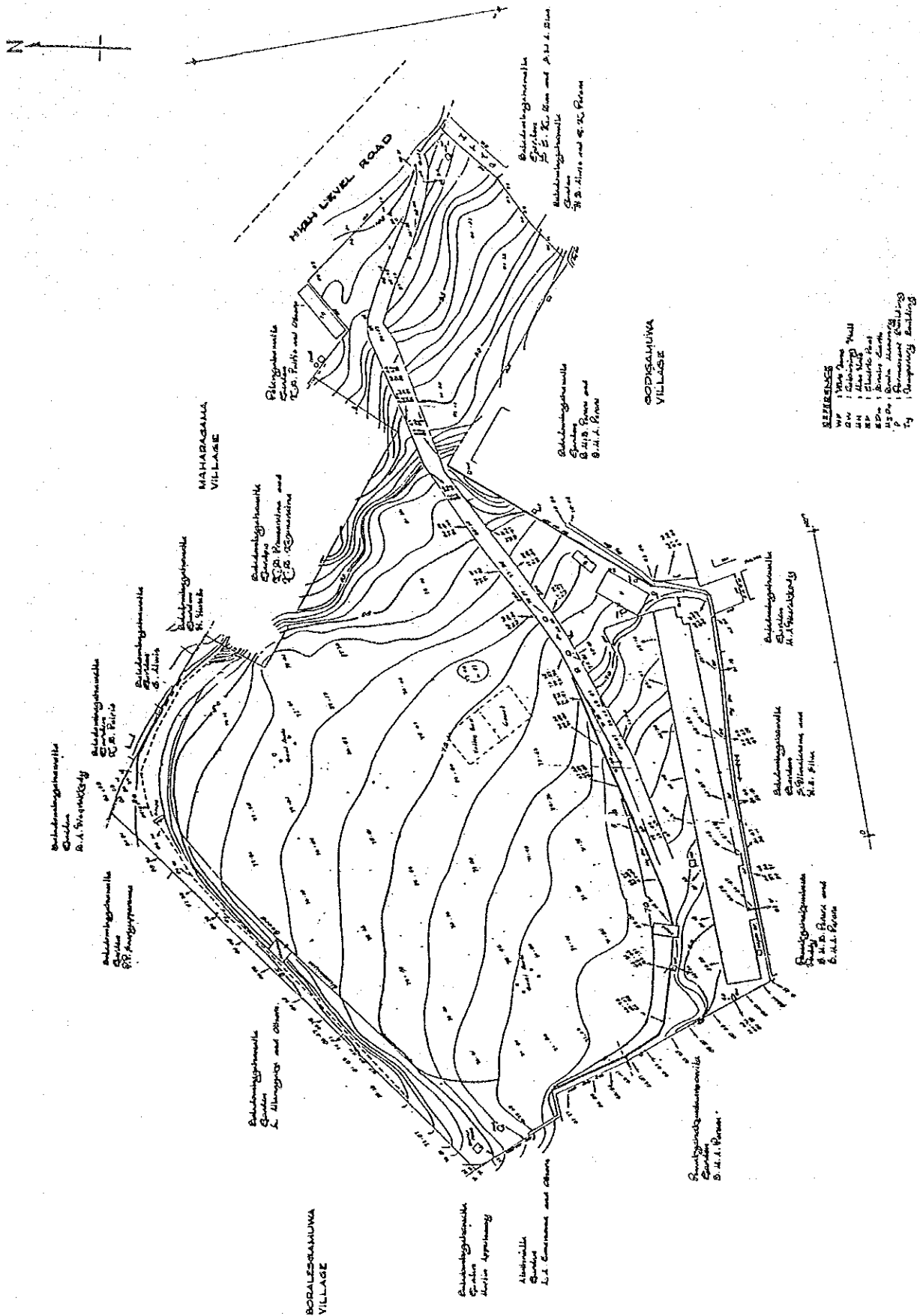
敷地測量図

マハラガマ地区都市計画図

敷地状況写真

ボーリング調査資料

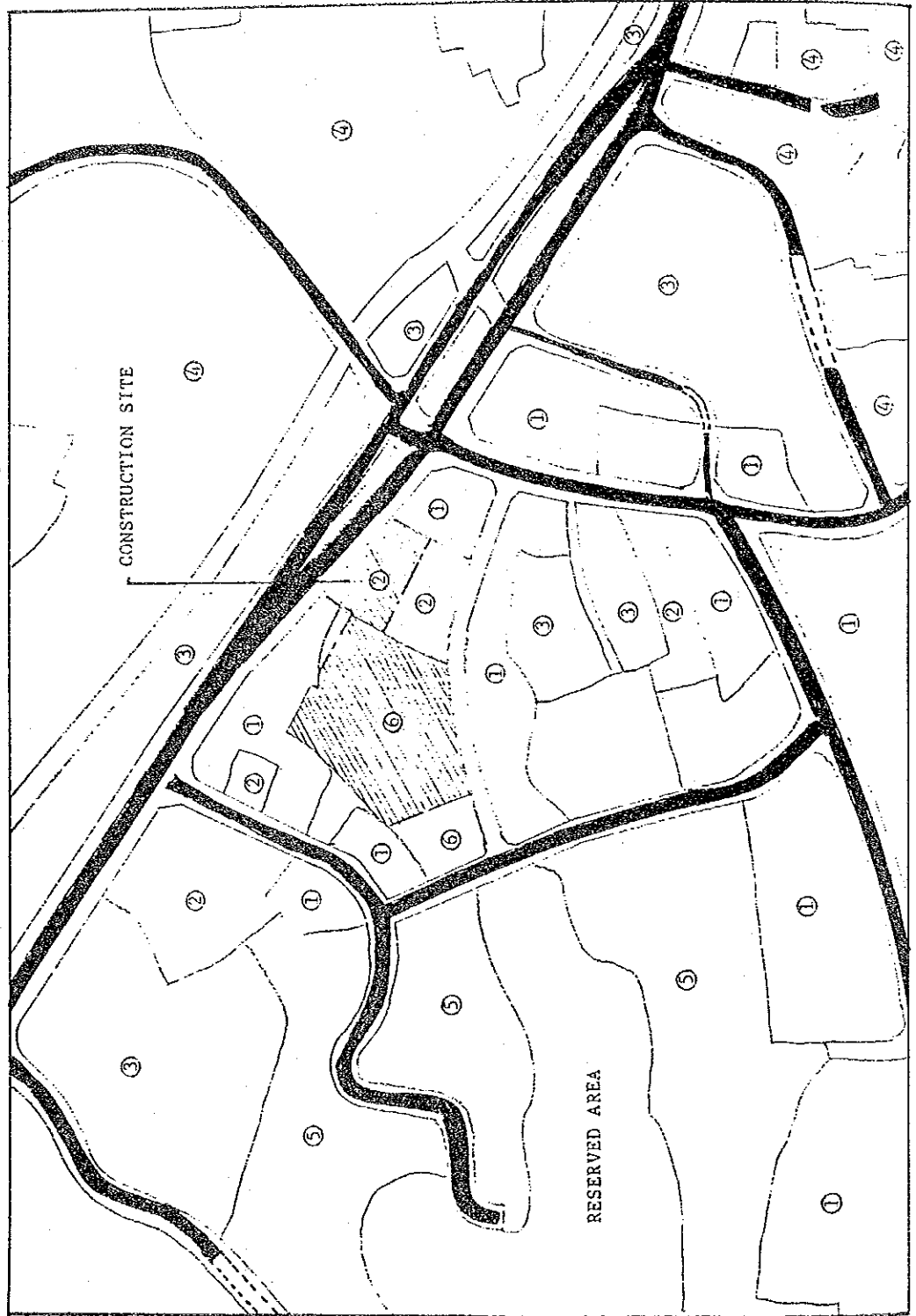
敷地測量図

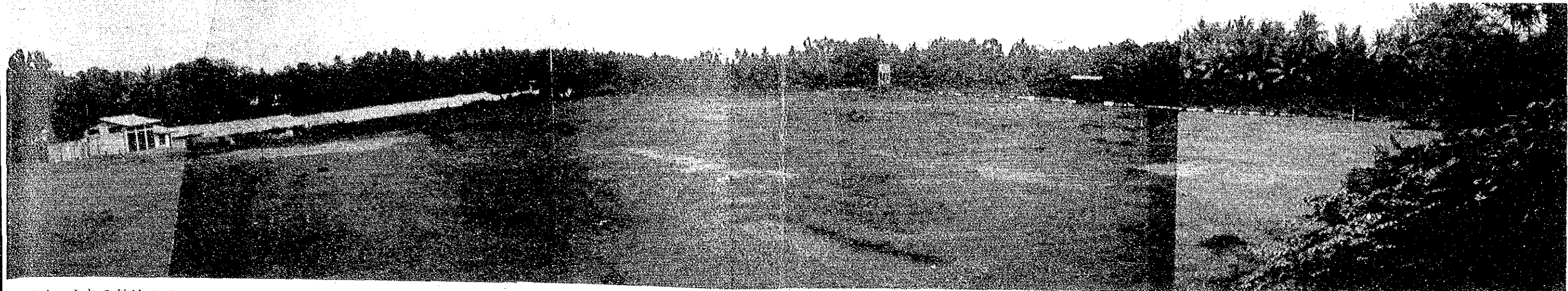


マハラガマ地区 都市計画図

- REGEN :
- ① COMMERCIAL ZONE
 - ② PUBLIC & SEMI-PUBLIC ZONE
 - ③ PUBLIC-RESIDENTIAL ZONE
 - ④ PRIMARY RESIDENTIAL ZONE
 - ⑤ SPECIAL CONTROLLED ZONE
 - ⑥ RECREATIONAL ZONE

DEVELOPMENT PROPOSALS FOR
CENTRAL AREA OF MAHARAGAMA TOWN





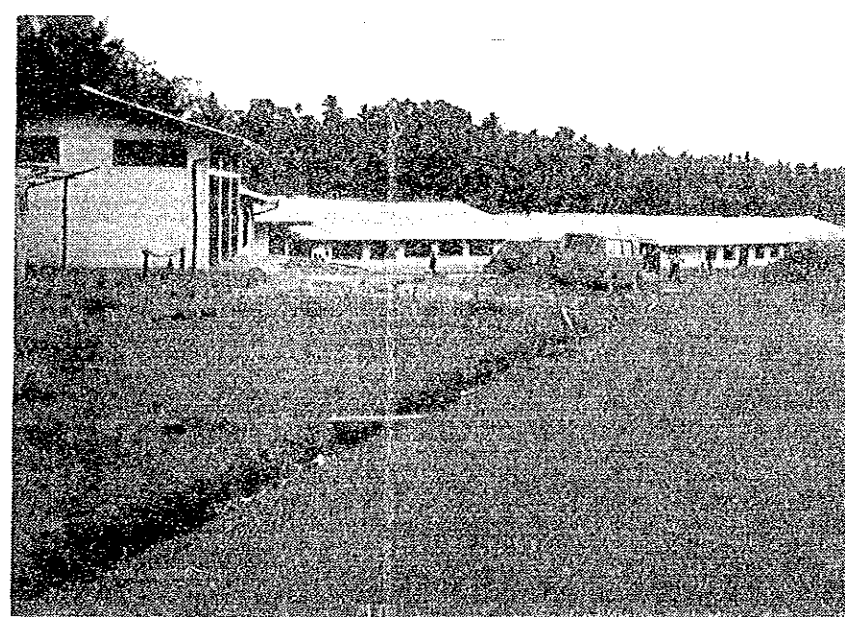
1. メインとなる敷地のパノラマ



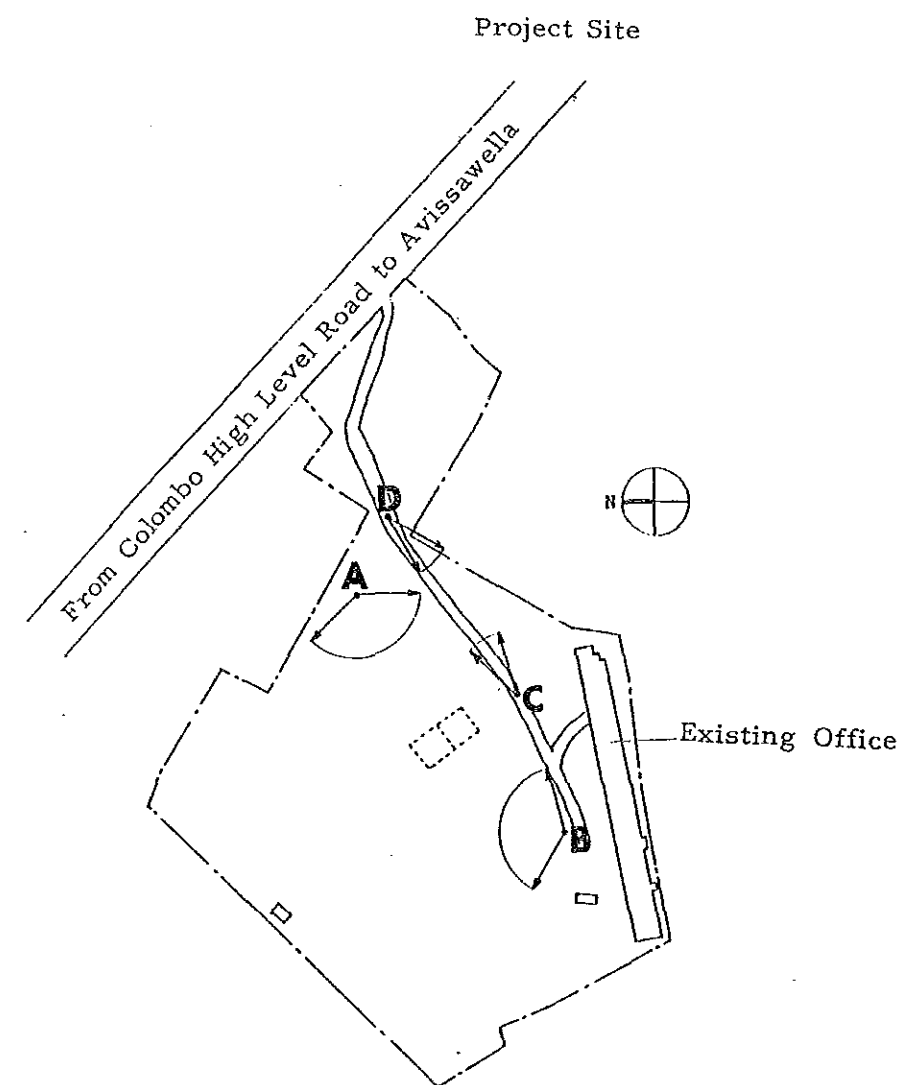
2. 同上 反対方向より見る



3. 入口近く狭くなった部分

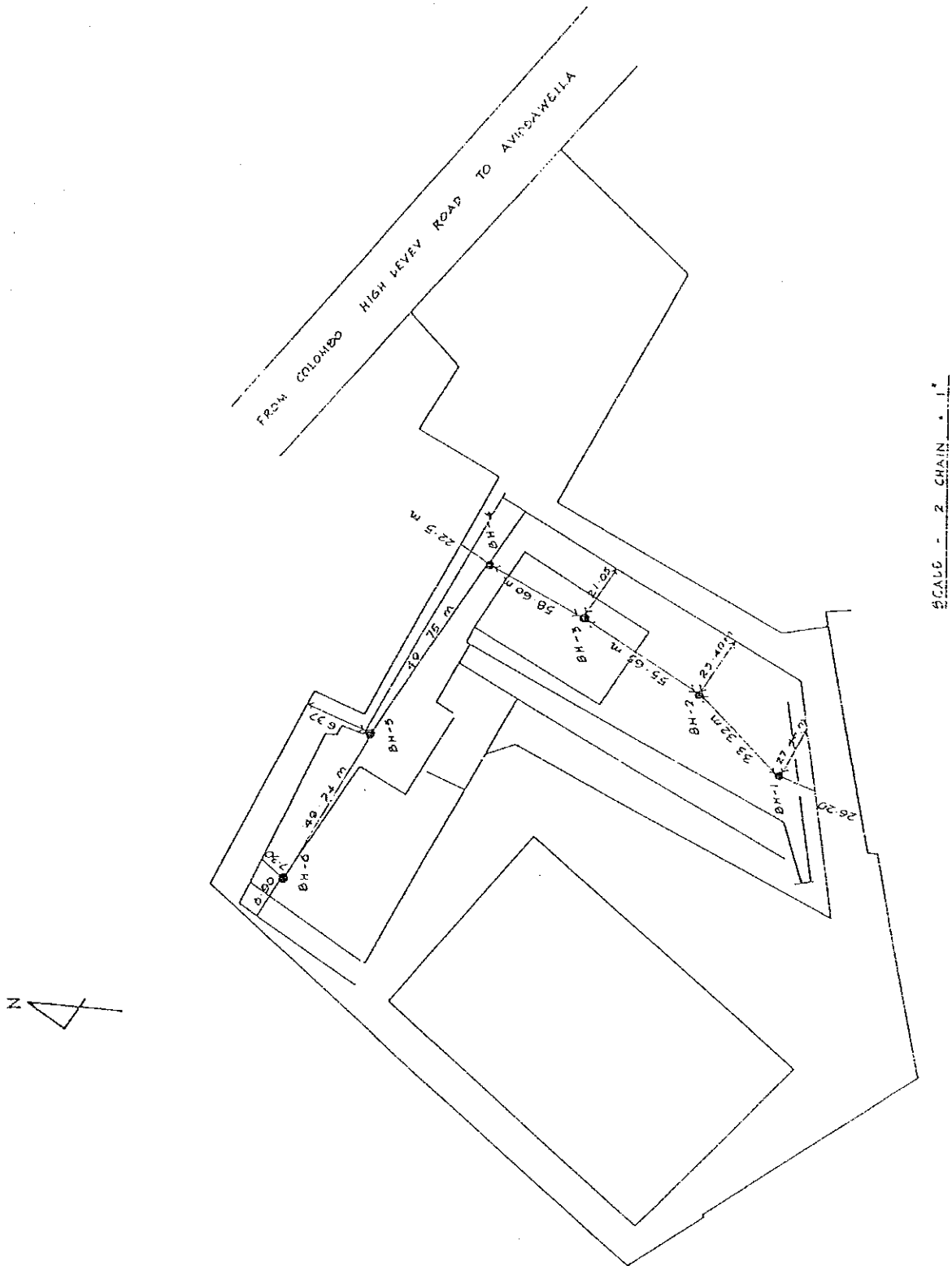


4. 既存青少年局・他の建家



ボーリング試験資料

ボーリング試験位置



GROUP ENGINEERING LABORATORIES LTD.				BOREHOLE NO: 1 SHEET 1 OF 3			
EQUIPMENT & METHODS Water Flush Rotary Drill 75 mm casing		LOCATION NO: National Youth Services Council Project - Maharagama					
CARRIED OUT FOR: M/s Geotech Ltd		GROUND LEVEL 21.737 m. REF. BASEMENT OF SECURITY HUT		COORDINATES DATE			
DESCRIPTION	REDUCED LEVEL	LEGEND	DEPTH & THICKNESS	SAMPLES/TESTS			FIELD RECORDS
				SAMPLE TYPE	NO	TEST	
Gravelly sandy clay of lateritic origin. Yellowish brown in colour.	20-737	1	1.50 - 1.95	B	1	-	1 1 3 Ground water 3 2 2
				Ws	2	-	
	19-737	2	(3.30)	D	3	S N=4	
				Ws	4	-	
	18-737	3	3.00 - 3.45	D	5	S N=4	
17-737	4	(0.70)	Ws	6	-		
			16-737	5	(2.00)	D	7
Ws	8	-					

SPT : Where full 0.3m penetration has not been achieved, the number of blows for the quoted penetration is given (not N-value).
 REMARKS : All depths and reduced levels in metres. Thicknesses given in brackets in depth column.

SAMPLE/TEST KEY
 D Disturbed Sample
 B Bulk Sample
 W S Washed Sample
 Piston (P) Tube (U) or core sample length to scale
 Standard Penetration Test

W Water Sample
 C Core Recovery (%)
 R Rock Quality Designation (RQD %)

LOGGED BY
 SCALE
 FIG:

GROUP ENGINEERING LABORATORIES LTD.						BOREHOLE NO: 1 SHEET 2 OF 3		
EQUIPMENT & METHODS				LOCATION NO:				
CARRIED OUT FOR:				GROUND LEVEL		COORDINATES	DATE	
DESCRIPTION	REDUCED LEVEL	LEGEND	DEPTH & THICKNESS	SAMPLES/TESTS			FIELD RECORDS	
				SAMPLE TYPE	NO	TEST		
Same as above								
Very soft clay with a small percentage of coarse to fine sand. Yellowish mottled white and brown.	15-737		6	6.00 - 6.45	D	9	S	1-45 cm
	14-737		7	(1.50)	MS	10	-	
Moderately stiff clay with a small percentage of sand. Yellow mottled with white, pink and brown.	13-737		8	7.50 - 7.95	D	11	S N=7	3 3 4
	12-737		9	(4.00)	8.25 - 8.75	G	12	-
	11-737		10	9.00 - 9.45	D	13	S N=16	5 6 10
					D	14	S N=23	7 11 12

SPT : Where full 0.3m penetration has not been achieved, the number of blows for the quoted penetration is given (not N-value).
 DEPTHS : All depths and reduced levels in metres. Thicknesses given in brackets in depth column.

SAMPLE/TEST KEY
 D Disturbed Sample
 B Bulk Sample
 MS Washed Sample
 Piston (P) Tube (U) or core sample length to scale
 S Standard Penetration Test

W Water Sample
 C Core Recovery (%)
 r Rock Quality Designation (RQD %)

FIXED BY
 SCALE
 FIG:

GROUP ENGINEERING LABORATORIES LTD.						BOREHOLE NO: 1 SHEET 3 OF 3	
EQUIPMENT & METHODS		LOCATION NO:					
CARRIED OUT FOR:		GROUND LEVEL		COORDINATES		DATE:	
DESCRIPTION	REDUCED LEVEL	LEGEND	DEPTH & THICKNESS	SAMPLES/TESTS			FIELD RECORDS
				SAMPLE TYPE	NO	TEST	
Same as above	10.737		11	11.00 - 11.45	D	15	S N = 12 4 4 8
Stiff silty clay with a small percentage of gravel particles. Brown in colour.	9.737		(1.00) 12	12.00 - 12.45	D	16	S N = 10 12 16 24
Soft gravally clay. Greenish brown mottled with reddish brown and white.	8.737		13	13.00 - 13.45	D	17	S N = 14 6 6 8
	7.737		14	14.00 - 14.45	D	18	S N = 11 8 5 6
Borehole terminated at 14.45 m depth.	7.287		15				

SPT : Where full U₁₀ penetration has not been achieved, the number of blows for the quoted penetration is given (not N-value).
 DEPTHS : All depths and reduced levels in metres. Thicknesses given in brackets in depth column.
 WATER : Water level observations during test.

SAMPLE/TEST KEY
 D Disturbed Sample
 B Bulk Sample
 W S Washed Sample
 P Piston (P) Tube (U) or core sample length to scale
 S Standard Penetration Test
 W Water Sample
 C Core Recovery (%)
 R Rock Quality Designation (RQD %)

LOGGED BY
 SCALE
 FIG:

GROUP ENGINEERING LABORATORIES LTD.				BOREHOLE NO: 2' SHEET 1 OF 2					
EQUIPMENT & METHODS Water Flush Rotary Drill 75 mm casing		LOCATION NO: National Youth Services Council Project - Maharagama							
CARRIED OUT FOR: X/A Geotech Ltd		GROUND LEVEL: 21.850 m REF. BASEMENT OF SECURITY HUT		COORDINATES	DATE				
DESCRIPTION	REDUCED LEVEL	LEGEND	DEPTH & THICKNESS	SAMPLES/TESTS			FIELD RECORDS		
				TYPE	NO	TEST			
Gravelly, sandy clay of lateritic origin. Brown in colour.	20.852		1	3.50	1.50 - 1.95	B	1	-	2 2 2 Ground water
						VS	2	-	
						D	3	S N=4	
						VS	4	-	
						D	5	S N=4	
Silty, coarse to fine sand with a trace of clay. Grey mottled with brown.	17.850		4	(3.00)	4.50 - 4.95	VS	6	-	3 5 5
						D	7	S N=10	
						VS	8	-	
	16.850		5						

SPT : Where full 0.3m penetration has not been achieved, the number of blows for the quoted penetration is given (not V-value).
 DEPTHS : All depths and reduced levels in metres. Thicknesses given in brackets in depth column.
 WATER : Water level observations during boring are given as water level.




SAMPLE/TEST KEY
 D Disturbed Sample
 B Bulk Sample
 W S Washed Sample
 P Piston (P) Tube (U) or core sample length to scale
 S Standard Penetration Test
 V Vane Test

W Water Sample
 C Core Recovery (%)
 R Rock Quality Designation (RQD %)

LOGGED BY
 SCALE
 FIG:

GROUP ENGINEERING LABORATORIES LTD.						BOREHOLE NO: 2 SHEET 2 OF 2	
EQUIPMENT & METHODS			LOCATION NO:				
CARRIED OUT FOR:			GROUND LEVEL	COORDINATES	DATE		
DESCRIPTION	REDUCED LEVEL	LEGEND	DEPTH & THICKNESS	SAMPLES/TESTS			FIELD RECORDS
				TYPE	NO	TEST	
Same as above	15-850		6 6.00-6.45	D	9	S N=4	2 2 2
Same as above, with a considerable percentage of fine gravel.	14-850		7 7.50-7.95	WS	10	-	5 5 6
	13-850		(2.00) 8	D	11	N=11	
Clayey silty coarse to fine sand with occasional fine gravel. Yellow mottled with white.	12-850		9 9.00-9.45	D	13	S N=11	4 5 6
	11-850		(1.95) 10 10.00-10.45	D	14	S N=16	5 7 9
Borehole terminated at 10.45 m depth			11-400				
SPT : Where full 0.3m penetration has not been achieved, the number of blows for the quoted penetration is given (not N-value). PTHS : All depths and reduced levels in series. Thicknesses given in brackets in depth column. S : Soil level observations during...		SAMPLE/TEST KEY D Disturbed Sample B Bulk Sample WS Washed Sample P Piston (P) Tube (U) or core sample length to scale S Standard Penetration Test V ... Test		W Water Sample C Core Recovery (%) R Rock Quality Designation (RQD %)		LOGGED BY SCALE FIG:	

GROUP ENGINEERING LABORATORIES LTD.				BOREHOLE NO: 3 SHEET 1 OF 2			
EQUIPMENT & METHODS Water Flush Rotary Drill 75 mm casing		LOCATION NO: National Youth Services Council Project - Maharagama					
CARRIED OUT FOR: M/s Geotech Ltd		GROUND LEVEL 22.808 m. REF. BASEMENT OF SECURITY HUT.		COORDINATES DATE			
DESCRIPTION	REDUCED LEVEL	LEGEND	DEPTH & THICKNESS	SAMPLES/TESTS			FIELD RECORDS
				SAMPLE TYPE	NO	TEST	
Gravally sandy silty clay of lateritic origin. Reddish brown in colour. Reddish brown mottled with yellowish grey when go deeper.	21.808		1 (4.00)	B	1	-	4 6 2
				WS	2	-	
				D	3	S N=8	
				WS	4	-	
				D	5	S N=15	
				WS	6	-	
				D	7	S N=34	
				WS	8	-	
Hard silty clay with a considerable percentage of sand and gravel. Reddish brown mottled with yellowish brown.	18.808		4 (1.75)	D	7	S N=34	10 7 8
	17.808			5	WS	8	-
SPT : Where full 0.3m penetration has not been achieved, the number of blows for the quoted penetration is given (value). EPDS : and reduced levels in thicknesses given in brackets in depth column. ... level of penetration during		SAMPLE/TEST KEY D Disturbed Sample B Bulk Sample WS Washed Sample Piston (P) Tube (H) or core sample length to scale S Standard Penetration Test		W Water Sample C Core Recovery (%) r Rock Quality Designation (RQD %)		LOGGED BY SCALE FIG:	

GROUP ENGINEERING LABORATORIES LTD.						BOREHOLE NO: 3 SHEET 2 OF 2		
EQUIPMENT & METHODS				LOCATION NO:				
CARRIED OUT FOR:				GROUND LEVEL		COORDINATES	DATE	
DESCRIPTION	REDUCED LEVEL	LEGEND	DEPTH & THICKNESS	SAMPLES/TESTS			FIELD RECORDS	
				TYPE	NO	TEST		
Same as above								
Borehole terminated at 6.35 m depth.	16.808		6 (0.60)	6.00 - 6.35	D	9	3 25 50 - 10cm	
	16.458							
SPT : Where full 0.3m penetration has not been achieved, the number of blows for the quoted penetration is given (not N-value). DEPTH : All depths and reduced levels in metres. Thicknesses given in brackets in depth column.		SAMPLE/TEST KEY D Disturbed Sample B Bulk Sample W S Washed Sample P Piston (P) Tube (U) or core sample length to scale S Standard Penetration Test		W Water Sample C Core Recovery (%) R Rock Quality Designation (RQD %)			LOGGED BY SCALE FIG:	

GROUP ENGINEERING LABORATORIES LTD.		BOREHOLE NO. 4 SHEET 1 OF 3					
EQUIPMENT & METHODS Water Flush Rotary Drill		LOCATION No. National Youth Services Council Project - Maharagama					
CARRIED OUT FOR :		GROUND LEVEL 24.720 m	DATE				
REF BASEMENT OF SECURITY HUE							
DESCRIPTION	REDUCED LEVEL	DEPTH (m)	SAMPLES/TESTS		FIELD RECORDS		
			TYPE	TEST			
Gravelly silty clay. Reddish brown mottled with yellow.	23.720	1	B	1	-		
			NS	2	-		
		1.50 - 1.95	D	3	S N=9	7 4 5	
	22.720	2	NS	4	-		
	Silty clay with a small percentage of sand. Reddish brown mottled with yellowish brown.	21.720	3	D	5	S N=7	6 4 3
				NS	6	-	
		20.720	4				
	Very stiff clay with a small percentage of sand particles. Yellow mottled with white.	19.720	5	D	7	S N=29	12 13 16
			NS	8	-		



Ground water

Where full 0.3m penetration has not been achieved, the number of blows for the quoted penetration is given (say N-value).
All depths and reduced levels in meters. Thicknesses given in meters in depth column.

SAMPLE/TEST KEY
 D Disturbed Sample
 S Bulk Sample
 M Water Sample
 P Piston (P) undisturbed sample taken to depth
 S Standard Penetration Test
 Zone 1-5

Core recovery (%)
 Rock Quality Designation (RQD-%)

LOGGED BY
 SCALE
 FIG.

GROUP ENGINEERING LABORATORIES LTD.						BOREHOLE NO. 4 SHEET 2 OF 3		
EQUIPMENT & METHODS			LOCALITY NO.					
CARRIED OUT FOR :			GROUND LEVEL	CO-ORDINATES	DATE			
DESCRIPTION	REDUCED LEVEL	LEGEND	DEPTH & THICKNESS	SAMPLES/TESTS			FIELD RECORDS	
				SAMPLE TYPE	NO	TEST		
Same as above	18.720		6.00 - 6.45	B	9	S N=22	6 11 11	
			(4.50)	WS	10	-		
	17.720		7	7.50 - 7.95	D	11	S N=30	13 14 16
	16.720		8		WS	12	-	
Stiff silty clay with a small percentage of sand particles. Mica present. Yellowish brown mottled with white and greenish brown.	15.720		9.00 - 9.45	D	13	S N=26	8 11 15	
			(3.00)	WS	14	-		
	14.720		10.50 - 10.95	D	15	S N=34		
Where full 0.3m penetration has not been achieved, the number of blows for the quoted penetration is given (not N-value).	SAMPLE/TEST KEY		C Core recovery (%)			LOGGED BY		
All depths and reduced levels in metres. Thicknesses given in metres in depth column.	D Disturbed Sample		R Rock Quality Designation (RQD-%)			SCALE		
Field level observations during boring	B Bulk Sample					FIG		
	W Water Sample							
	P Piston (P) Tube (for core sample length to scale)							
	S Standard Penetration Test							
	V Vane Test							

GROUP ENGINEERING LABORATORIES LTD.				BOREHOLE NO. 4 SHEET 3 OF 3			
EQUIPMENT & METHODS		LOCATION NO.					
CARRIED OUT FOR :		GROUND LEVEL		CO-ORDINATES		DATE	
DESCRIPTION	REDUCED LEVEL	LEGEND	DEPTH & THICKNESS	SAMPLES/TESTS			FIELD RECORDS
				TYPE	NO	TEST	
Same as above	13-720		11	MS	16	-	
Clayey silty fine sand. Brownish grey in colour.	12-720		12	D	17	S No 25	10 11 14
Borehole terminated at 12.45 m depth	12-270		13				
<p>Where full 30mm penetration has not been achieved, the number of blows for the quoted penetration is given (not N-value).</p> <p>All depths and reduced levels in metres. Thicknesses given in centimetres in depth column.</p> <p>Water in soil is determined using the oven-drying method.</p>		<p>SAMPLE/TEST KEY</p> <p>0 Disturbed Sample</p> <p>B Bulk Sample</p> <p>W Water Sample</p> <p>P Piston (P) Tube (U) or core sample length to scale</p> <p>S Standard Penetration Test</p> <p>--- Test</p>		<p>C Core recovery (%)</p> <p>R Rock Quality Designation (RQD-%)</p>		<p>LOGGED BY</p> <hr/> <p>SCALE</p> <hr/> <p>FIG.</p>	

GROUP ENGINEERING LABORATORIES LTD.				BOREHOLE NO. 5 SHEET OF 1		
EQUIPMENT & METHODS Water Flush Rotary Drill 75 mm casing		LOCATION NO. National Youth Services Council Project - Maharagana				
CARRIED OUT FOR : M/s Geotech Ltd		GROUND LEVEL 23.866 m. REF. BASEMENT OF SECURITY HUT		CO-ORDINATES DATE		
DESCRIPTION	REDUCED LEVEL	LEGEND	DEPTH & THICKNESS	SAMPLES/TESTS		FIELD RECORDS
				SAMPLE TYPE	TEST NO	
Gravelly, sandy, soft clay of lateritic origin. Reddish brown mottled with yellow.	22.866	1	1.50 - 1.95	D 3	S N=7	3 3 4
	21.866	2		MS 4	-	Ground water
	20.866	3	3.00 - 3.45	D 5	S N=16	
	19.866	4		MS 6	-	
Soft silty clay with medium to fine sand. Yellowish brown mottled yellow.	18.866	5	4.50 - 4.95	D 7	S N=29	17 13 16
				MS 8	-	
Sandy, soft clay with a small percentage of fine gravel particles of lateritic origin.						
Where full 0.3m penetration has not been achieved, the number of blows for the quoted penetration is given (not N-value). All depths and reduced levels in metres. Thicknesses given in brackets in depth column. Water level observations during test.		SAMPLE/TEST KEY D Disturbed Sample B Bulk Sample MS Water Sample P Piston (P) Tube (Use core sample length to scale) S Standard Penetration Test N None Test		C Core recovery (%) R Rock Quality Designation (RQD-%)		LOGGED BY
						SCALE
						FIG.

GROUP ENGINEERING LABORATORIES LTD.		BOREHOLE NO. 5 SHEET 2 OF 2					
EQUIPMENT & METHODS		LOCATION NO.					
CARRIED OUT FOR :		GROUND LEVEL	CO-ORDINATES	DATE			
DESCRIPTION	REDUCED LEVEL	LEGEND	DEPTH & THICKNESS	SAMPLES/TESTS			FIELD RECORDS
				SAMPLE TYPE	NO	TEST	
Same as above	17.866		6 (2.00) 6.00 - 6.45	D	9	3 N=33	4 10 23
Silty, clayey coarse to fine sand with a considerable percentage of gravel size particles. Mica present. Dark brown mottled with yellowish brown and greenish brown. Completely weathered rock fabrics present.	15.866		7 7.50 - 7.85	WS	10	-	35 50 - 20cm
Borehole terminated at 7.85 m depth.	16.016		8				
Where full 0.3m penetration has not been achieved, the number of blows for the quoted penetration is given (not N-value). All depths and reduced levels in metres. Thicknesses given in brackets in depth column. Water level observations during drilling.		SAMPLE/TEST KEY 0 Disturbed Sample 9 Bulk Sample W Water Sample Piston (P) Tubeflow core sample length to scale 5 Standard Penetration Test V Vane Test		Core recovery (%) Rock Quality Designation (RQD-k)			LOGGED BY
						SCALE	
						FIG.	

GROUP ENGINEERING LABORATORIES LTD.				BORHOLE NO: 6 SHEET 1 OF 2				
EQUIPMENT & METHODS Water Flush Rotary Drill 75 mm casing		LOCATION NO: National Youth Services Council Project - Maharajana						
CARRIED OUT FOR: $\frac{1}{3}$ Geotech Ltd		GROUND LEVEL 24.105 m REF. BASEMENT OF SECURITY HUT		COORDINATES DATE				
DESCRIPTION	REDUCED LEVEL	LEGEND	DEPTH & THICKNESS	SAMPLES/TESTS			FIELD RECORDS	
				TYPE	NO	TEST		
Gravelly, sandy clay of lateritic origin.	23.106		(3.00)	1.50 - 1.95	B	1	-	5 9 5
					WS	2	-	
					D	3	S H=14	
Clayey, silty, coarse to fine sand. Mica present. Dark Brown mottled with yellowish brown.	22.106		(4.5)	3.00 - 3.45	WS	4	-	3 2 3
					D	5	S H=5	
					WS	6	-	
	20.106		(4.5)	4.50 - 4.95	D	7	S H=30	10 10 20
					WS	8	-	
SPT : Where full 0.3m penetration has not been achieved, the number of blows for the quoted penetration is given (not H-value).		SAMPLE/TEST KEY D Disturbed Sample B Bulk Sample WS Washed Sample Piston (P) Tube (U) or core sample length to scale S Standard Penetration Test V Vane Test		W Water Sample C Core Recovery (%) r Rock Quality Designation (RQD %)			LOGGED BY	
DEPTHS : All depths and reduced levels in metres. Thicknesses given in brackets in depth column.							SCALE	
WATER : Water level observations during boring are given as water level.							FIG:	

GROUP ENGINEERING LABORATORIES LTD.					BORERHOLE NO: 6		SHEET 2 OF 2	
EQUIPMENT & METHODS			LOCATION NO:					
CARRIED OUT FOR:			GROUND LEVEL		COORDINATES		DATE	
DESCRIPTION	REDUCED LEVEL	LEGEND	DEPTH & THICKNESS	SAMPLES/TESTS			FIELD RECORDS	
				SAMPLE TYPE	NO	TEST		
Same as above	18-106		6.00 - 6.45	D	9	N=30	8 12 18	
	17-106		7	7.50 - 7.95	D	11	S N=33	18 15 18
Coarse to fine silty sand with fine gravel size particles. Dark brown in colour. Mica present. Completely weathered rock. Parent rock fabrics present.	16-106		7.50 - 7.95	D	11	S N=33	18 15 18	
	15-406							12
Borehole terminated at 8.70 m depth								

SPT : Where full 0.3m penetration has not been achieved, the number of blows for the quoted penetration is given (not N-value).
DEPTH : All depths and reduced levels in metres. Thicknesses given in brackets in depth column.
WATER : Water level observations during boring are given as water level.

SAMPLE/TEST KEY
 D Disturbed Sample
 B Bulk Sample
 W S Washed Sample
 P Piston (P) Tube (U) or core sample length to scale
 S Standard Penetration Test
 V Vane Test

W Water Sample
 C Core Recovery (%)
 r Rock Quality Designation (RQD %)

DRAWN BY
 SCALE
 FIG:

Results of U_u Triaxial Test

B.H. No: 1

Depth: 8.25m

Soil description : Soft sandy clay, yellow mottled with white.

Cell pressure (lbs/in²): 10; 20; 40;

Deviator stress at failure (lbs/in²) 12; 18; 25;

Failure strain %: 8; 19; 13;

C_u (lbs/in²) = 5.5 (37 kN/m²)

ϕ = 10°

Av. Wet Density (lbs/ft³) = 101

Dry Density (lbs/ft³) = 66

Av.M.C. % = 53

RESULTS OF LABORATORY TESTS DONE FOR
NATIONAL YOUTH SERVICES COUNCIL AT
MAHARAGAMA

Results of the Tests for Index Properties

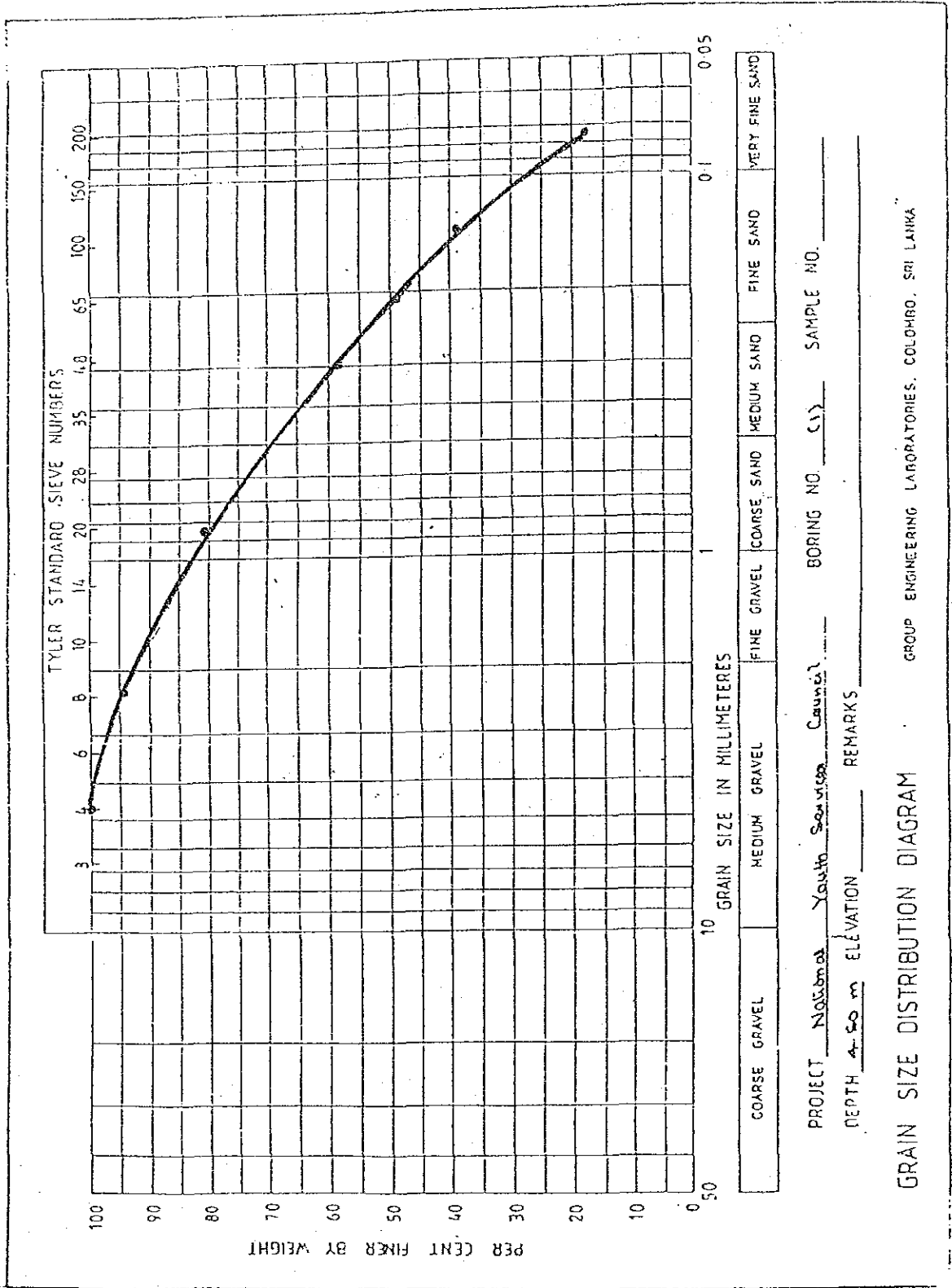
<u>B.H. No.</u>	<u>Depth (m)</u>	<u>L.L. %</u>	<u>P.L. %</u>	<u>P.I. %</u>
(1)	6.00	43	29	14
(1)	9.00	47	31	16
(3)	3.00	32	18	14
(3)	4.50	25	24	01
(4)	1.50	36	22	14
(4)	4.50	73	58	15
(4)	9.00	48	24	24
(4)	10.50	37	30	07
(5)	1.50	29	28	01
(6)	1.50	36	21	15

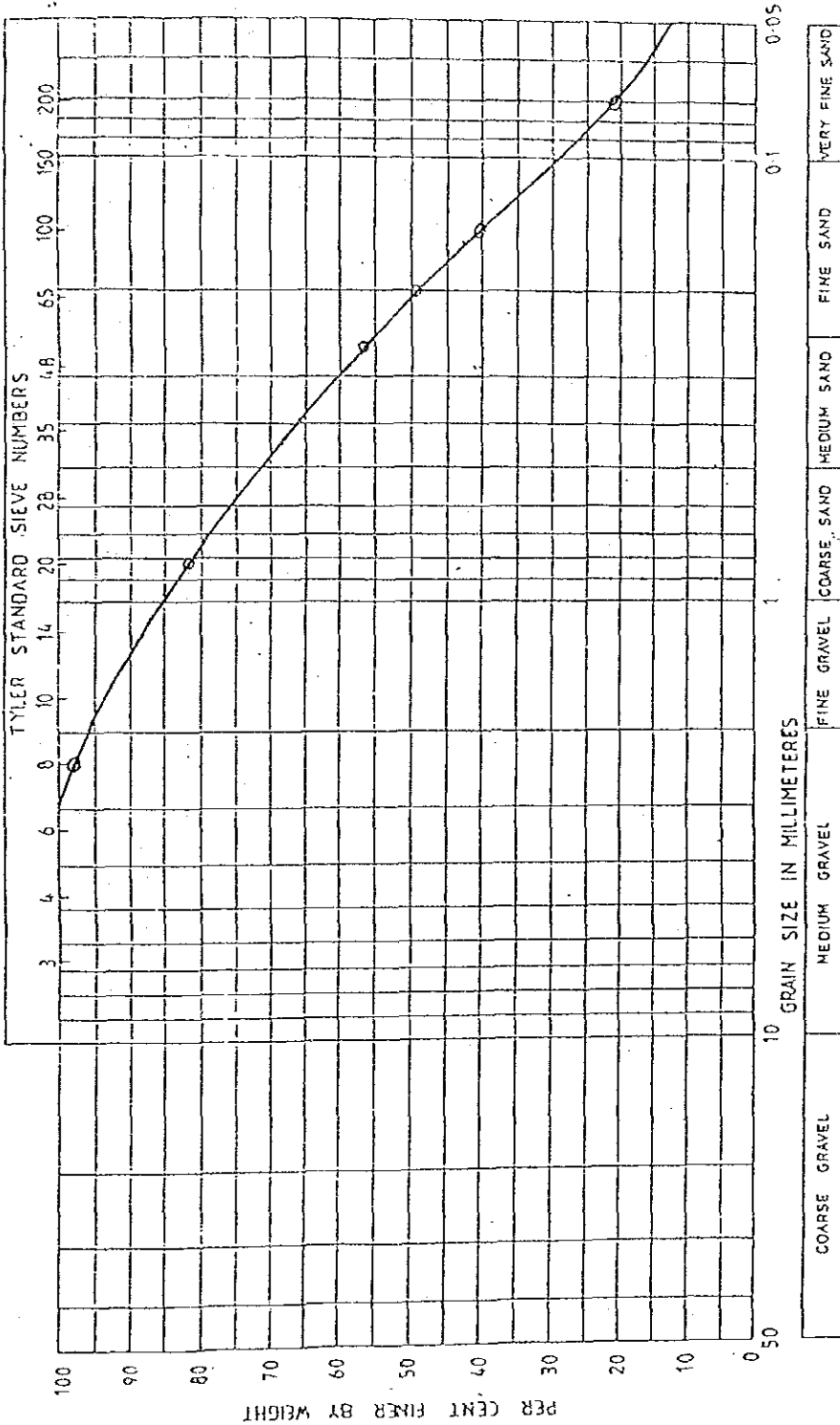
Results of Specific Gravity Tests

<u>B.H. No.</u>	<u>Depth (m)</u>	<u>Specific Gravity</u>
(1)	13.00	2.677
(1)	14.00	2.634
(2)	7.50	2.528
(2)	10.00	2.513
(3)	6.00	2.584
(4)	12.00	2.539
(5)	7.50	2.602
(5)	7.80	2.689
(6)	6.00	2.579
(6)	7.50	2.538

Results of Sieve Analysis

<u>B.H. No.</u>	<u>Depth (.m)</u>	<u>Remarks</u>
(1)	4.50	Curve attached
(1)	11.00	Curve attached
(2)	4.50	Curve attached
(2)	7.50	Curve attached
(4)	1.50	Curve attached
(4)	3.00	Curve attached
(4)	12.00	Curve attached
(5)	7.50	Curve attached
(6)	4.50	Curve attached
(6)	6.00	Curve attached



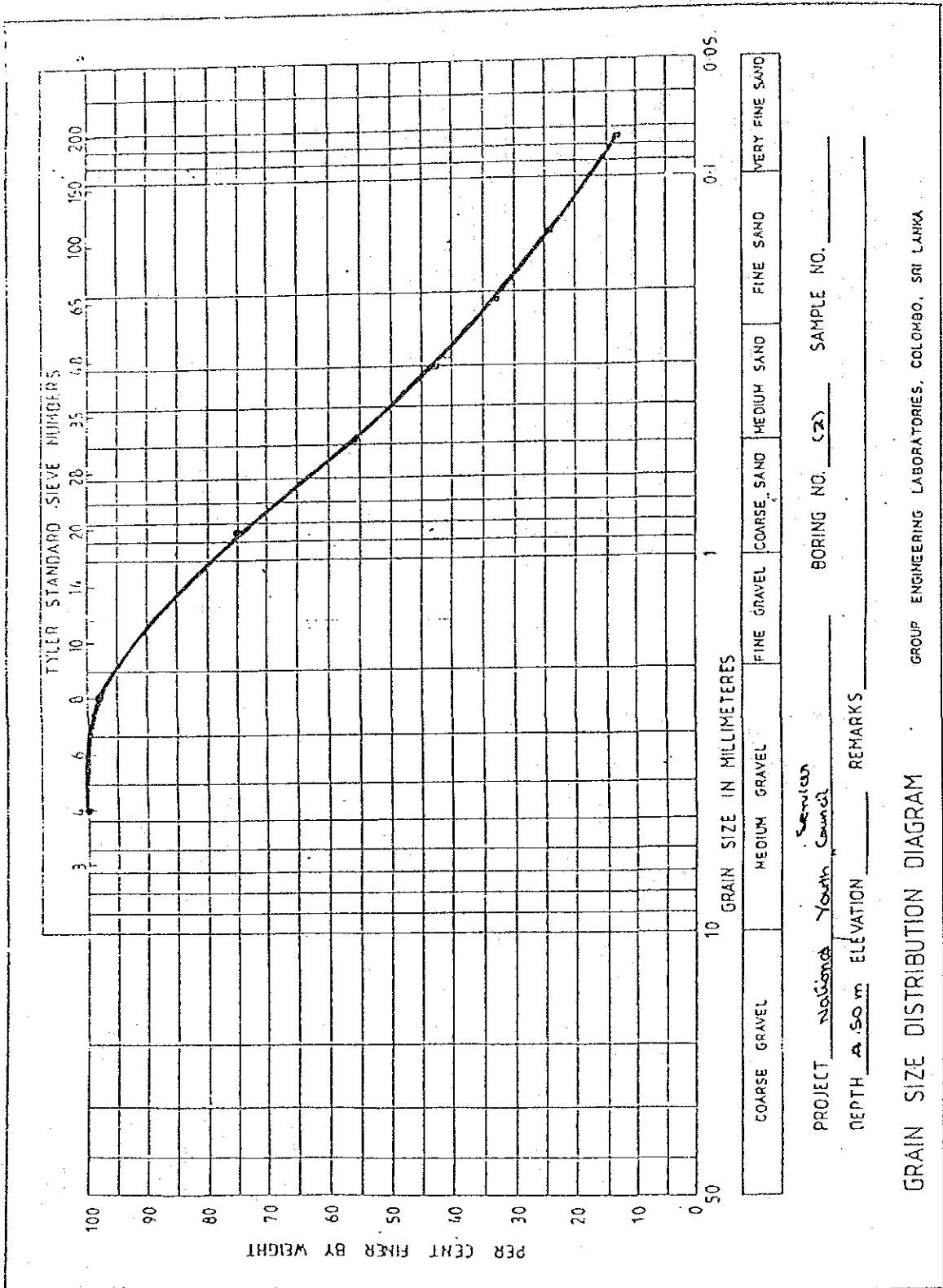


PROJECT National Youth Seminar Council BORING NO. (1) SAMPLE NO.

DEPTH 11.0 m ELEVATION _____ REMARKS _____

GRAIN SIZE DISTRIBUTION DIAGRAM

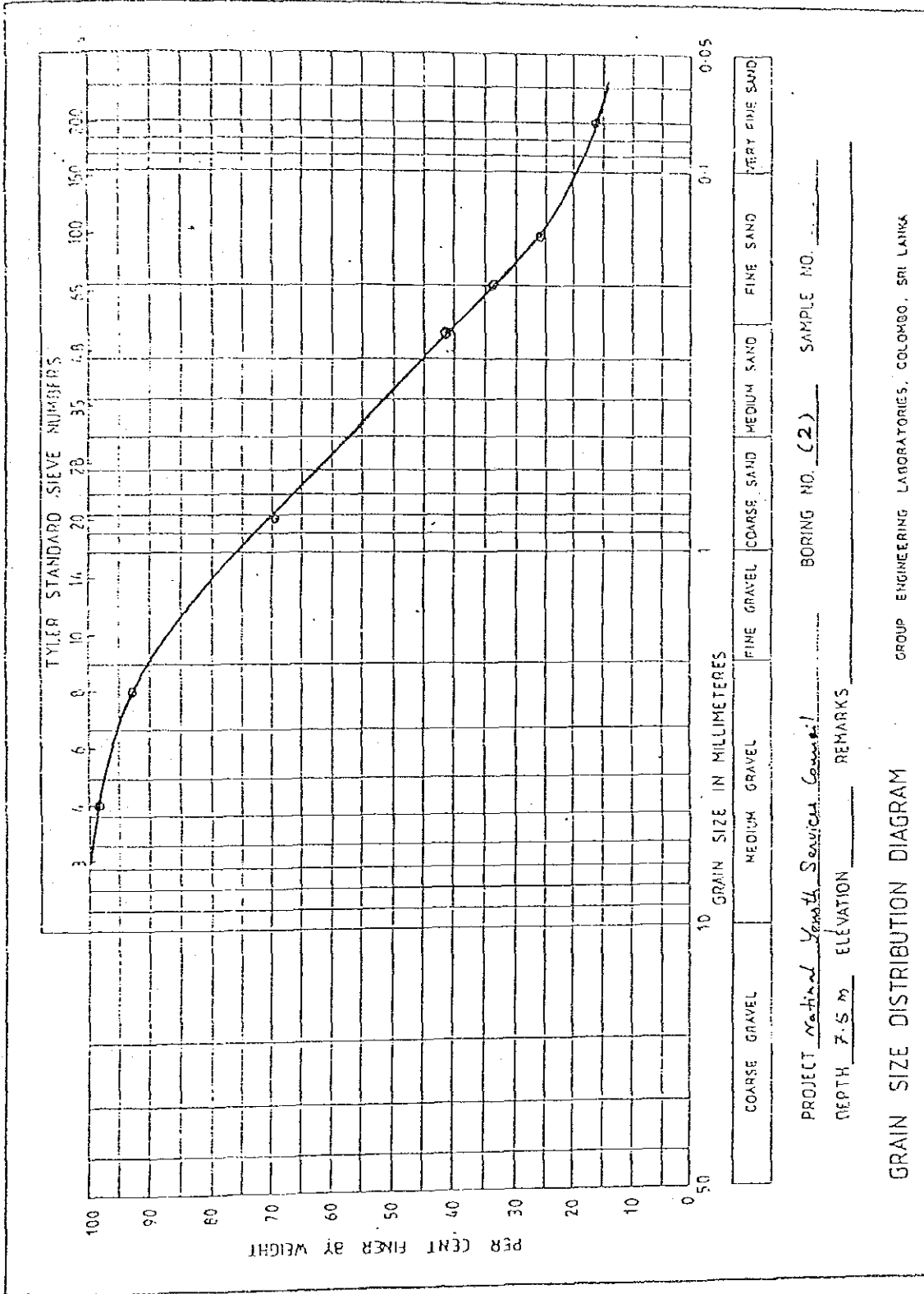
GROUP ENGINEERING LABORATORIES, COLOMBO, SRI LANKA



PROJECT Nalanda Youth Council BORING NO. (2) SAMPLE NO. _____
 DEPTH 0.50 m ELEVATION _____ REMARKS _____

GROUP ENGINEERING LABORATORIES, COLOMBO, SRI LANKA

GRAIN SIZE DISTRIBUTION DIAGRAM

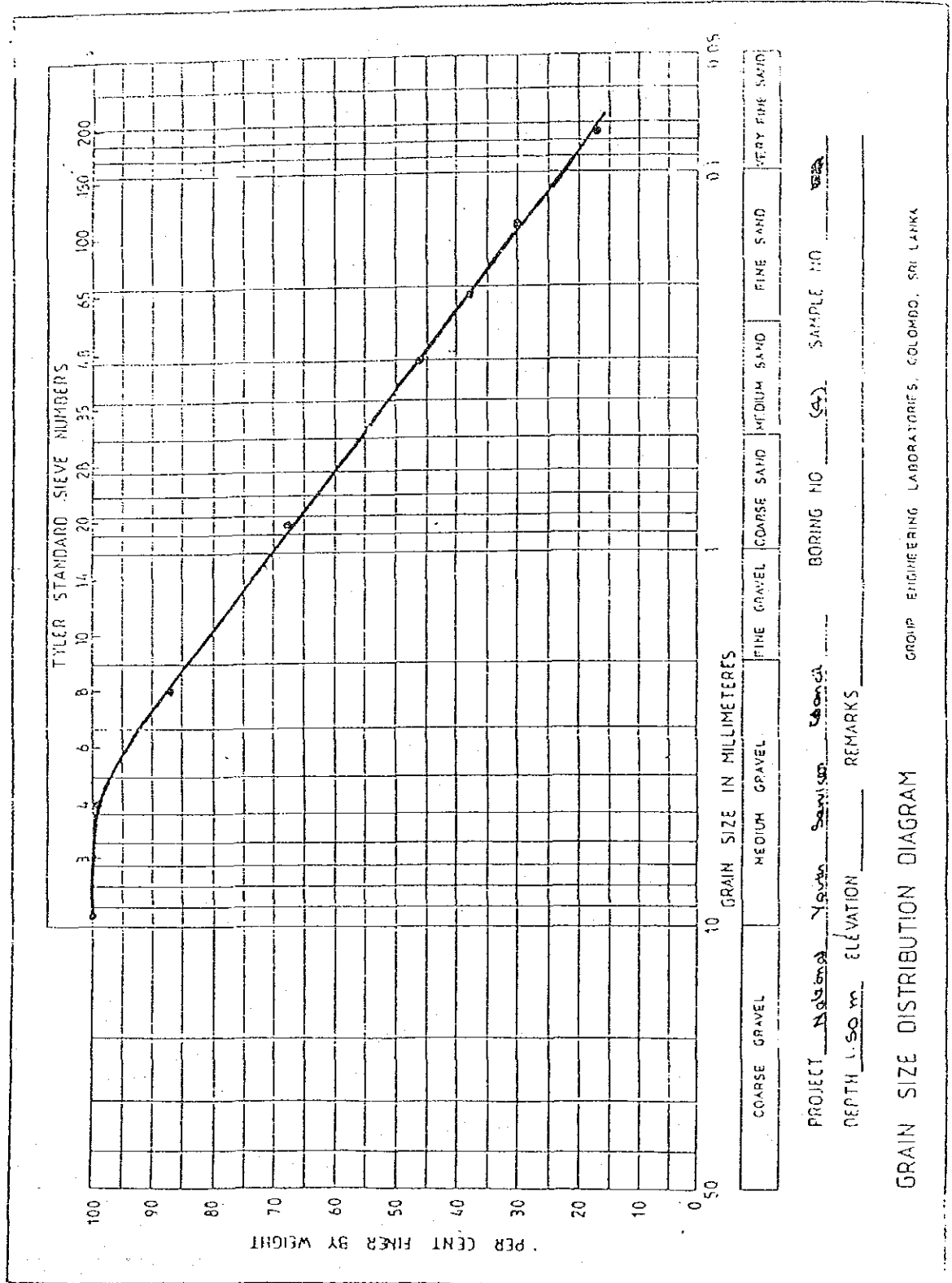


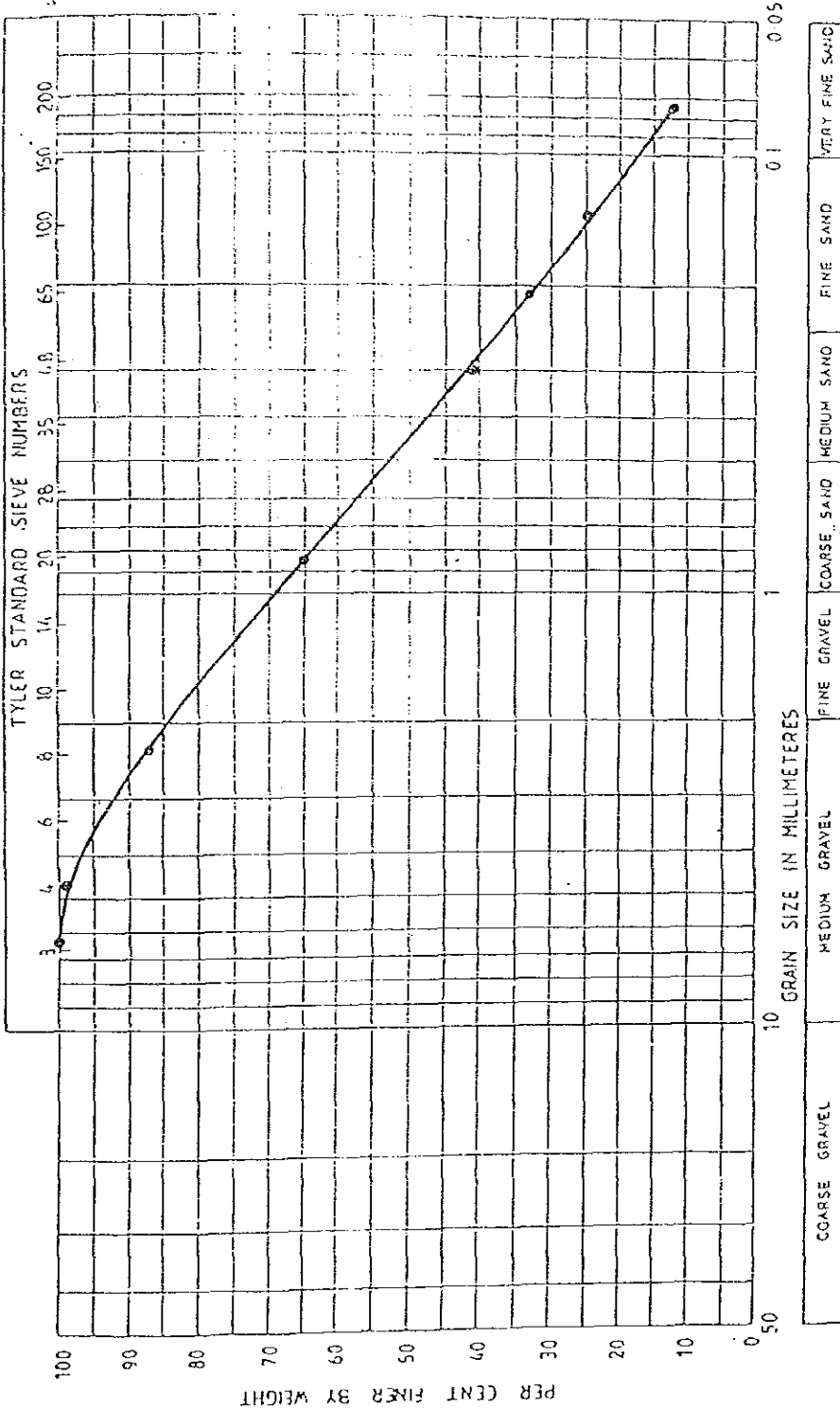
PROJECT National Youth Service Centre BORING NO. (2) SAMPLE NO. _____

DEPTH 7.5 m ELEVATION _____ REMARKS _____

GRAIN SIZE DISTRIBUTION DIAGRAM

GROUP ENGINEERING LABORATORIES, COLOMBO, SRI LANKA



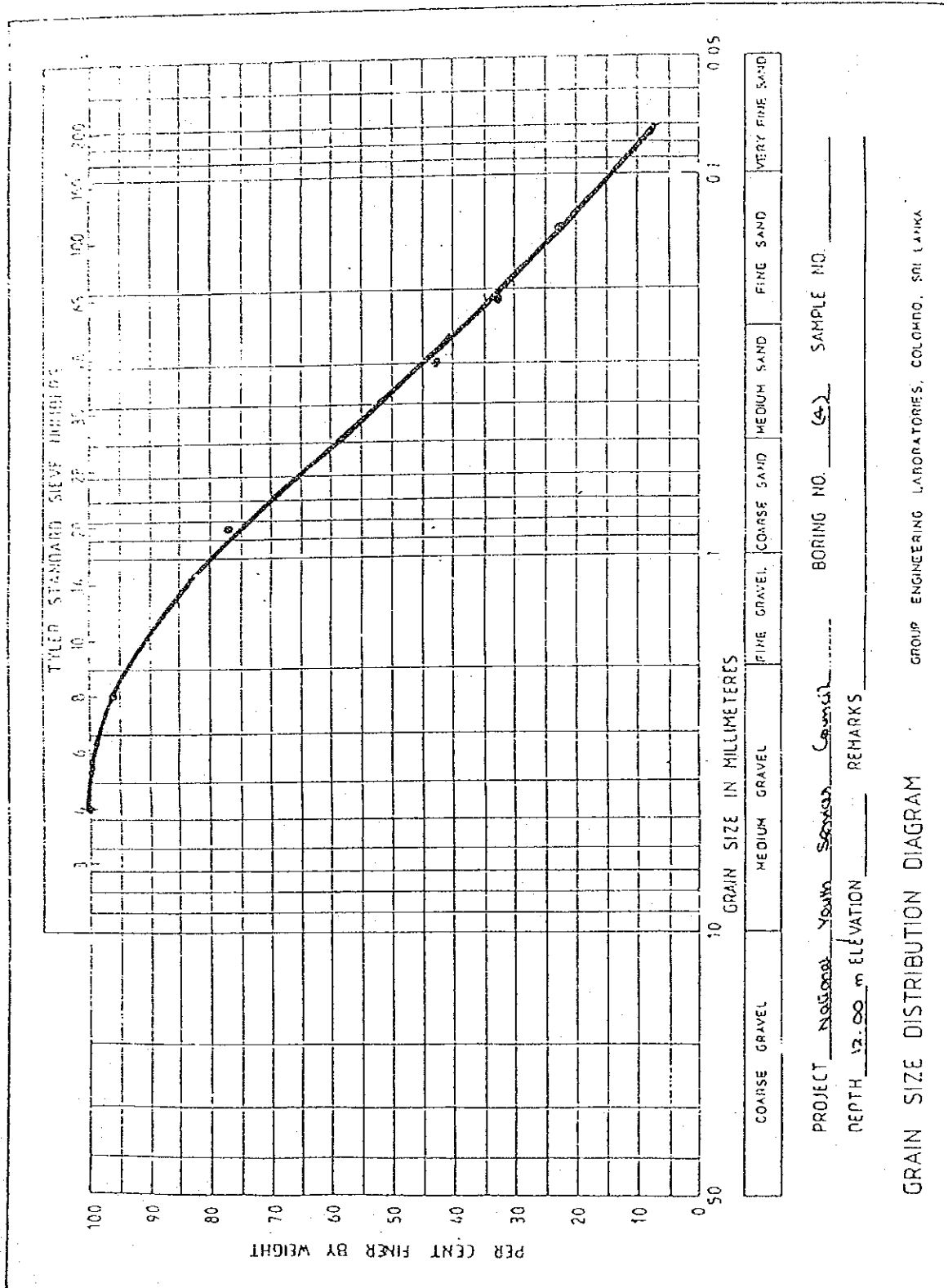


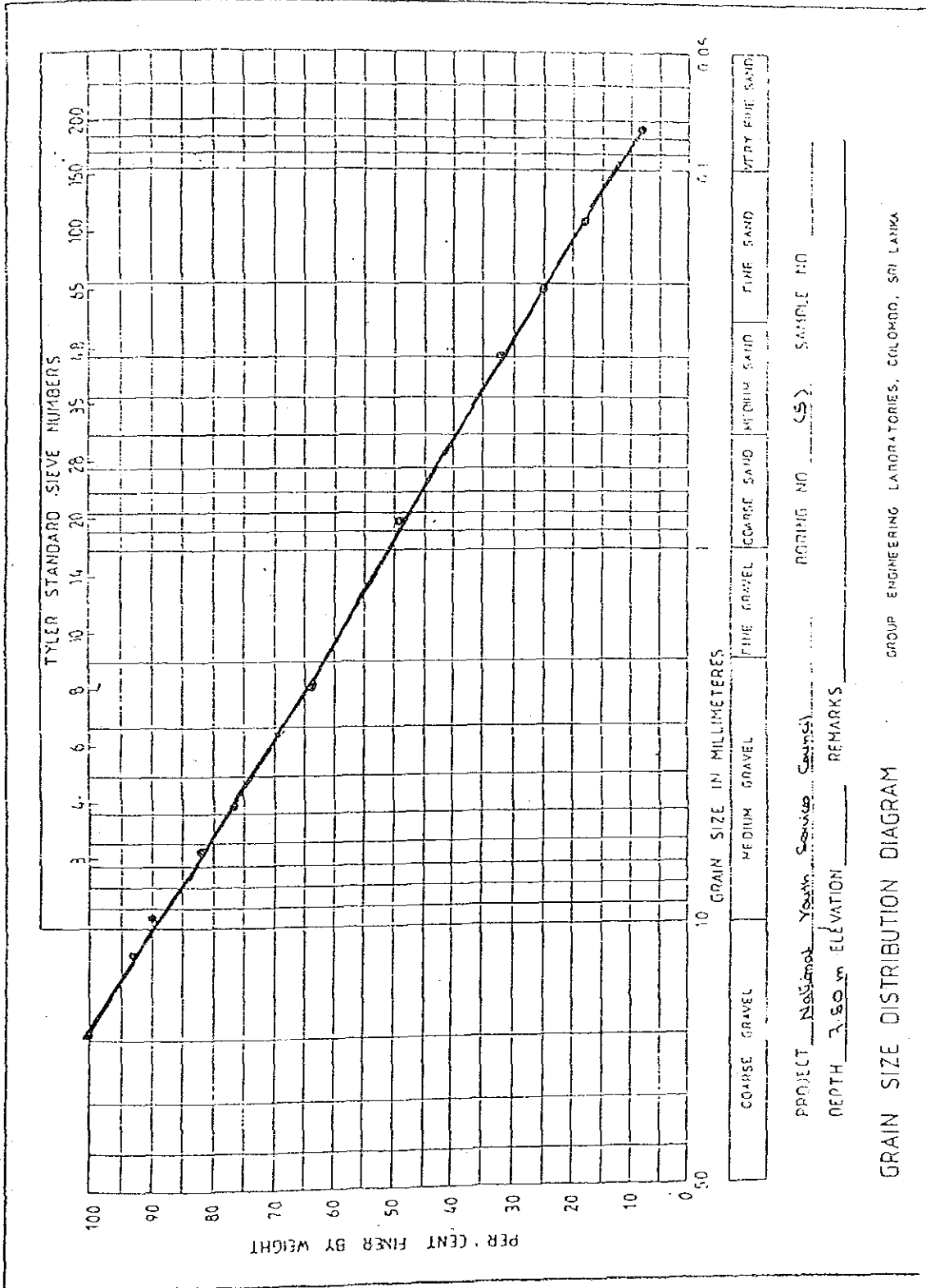
PROJECT Nalanda Youth BORING NO. (A) SAMPLE NO. _____

DEPTH 3.00 m ELEVATION _____ REMARKS _____

GRAIN SIZE DISTRIBUTION DIAGRAM

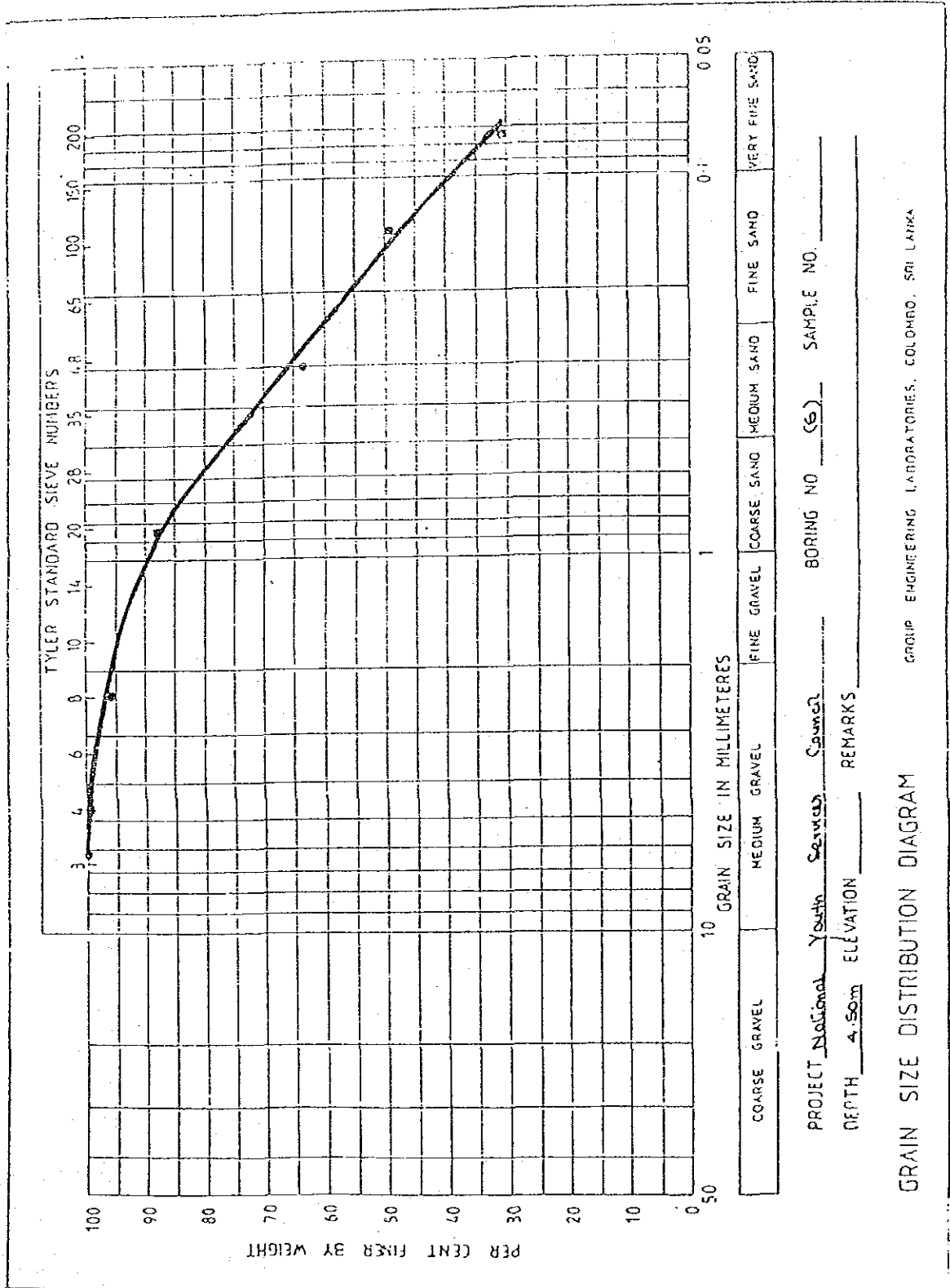
GROUP ENGINEERING LABORATORIES, COLOMBO, SRI LANKA





PROJECT National Youth Service Centre BORING NO. CS SAMPLE NO. _____
 DEPTH 2.50 m ELEVATION _____ REMARKS _____

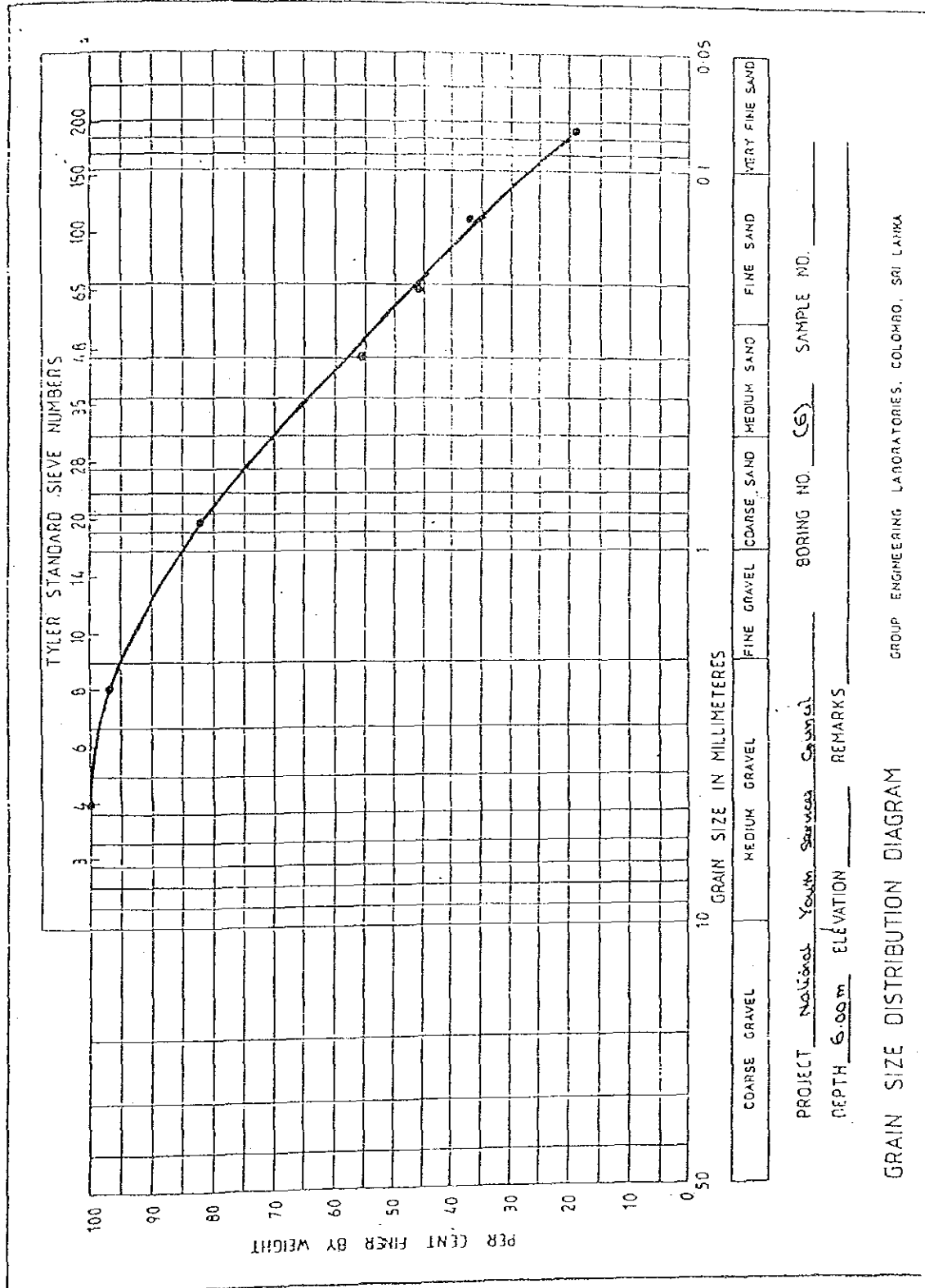
GRAIN SIZE DISTRIBUTION DIAGRAM GROUP ENGINEERING LABORATORIES, COLOMBO, SRI LANKA



PROJECT National Youth Services Council BORING NO. (6) SAMPLE NO. _____
 DEPTH 4.50m ELEVATION _____ REMARKS _____

GRAIN SIZE DISTRIBUTION DIAGRAM

GROUP ENGINEERING LABORATORIES, COLOMBO, SRI LANKA



COARSE GRAVEL MEDIUM GRAVEL FINE GRAVEL COARSE SAND MEDIUM SAND FINE SAND VERY FINE SAND

PROJECT National Youth Services BORING NO. (S) SAMPLE NO. _____
 DEPTH 6.00m ELEVATION _____ REMARKS _____

GRAIN SIZE DISTRIBUTION DIAGRAM GROUP ENGINEERING LABORATORIES, COLOMBO, SRI LANKA

4 維持管理運営費資料

■ N Y S C 職員の給料、賃金	単価 / 年 (ルピー)
会長	42,000
部長	31,880
次長	28,880
福祉事務員	24,600
主任会計士	〃
事務員	14,280
舎監	24,600
訓練講師	12,240
訓練担当部長補佐	24,600
司書	18,960
速記事務員	11,880
技師 (A/V、映写、ポンプ取扱、機械、木工、配管)	10,680
コック長	〃
電気技師	8,160
雑役夫	7,680

2) 施設運転光熱費

電力料金の試算

(1) 計算条件

施設の利用時間は、1日8時間、1ヶ月25日とする。

但し、ステージ部分は週2回4時間とする。

(2) 負荷容量の算定

a. 電灯コンセント負荷

管理・展示棟 $2,086 \text{ m}^2 \times @ 30 \text{ VA/m}^2 \approx 63 \text{ KVA}$

研修棟 $3,237 \text{ m}^2 \times @ 30 \text{ VA/m}^2 \approx 97 \text{ KVA}$

宿泊棟 $3,575 \text{ m}^2 \times @ 15 \text{ VA/m}^2 \approx 54 \text{ KVA}$

多目的ホール $5,450 \text{ m}^2 \times @ 20 \text{ VA/m}^2 \approx 109 \text{ KVA}$

外灯 7 KVA

b. 冷房負荷 $1,000 \text{ m}^2 \times @ 90 \text{ VA/m}^2 \approx 90 \text{ KVA}$

c. 一般動力負荷 180 KVA

d. 舞台照明負荷 200 KVA

800 KVA

(3) 最大使用電力の想定

$$800 \text{ KVA} \times 0.65 = 520 \text{ KW}$$

(4) 電力料金の計算

(a) 基本料金 (デマンド料金)

$$520 \text{ KW} \times 115 \text{ RS/KW} = 59,800 \text{ RS/月}$$

(b) 使用量料金 (ユニット料金)

$$\begin{aligned} \text{① } 600 \text{ KVA} \times 0.65 \times 8 \text{ 時間} \times 25 \text{ 日} \times 0.4 \times 1.5 \text{ RS/KWH} \\ = 46,800 \text{ RS/月 (一般負荷)} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{② } 200 \text{ KVA} \times 0.65 \times 4 \text{ 時間} \times 8 \text{ 日} \times 0.4 \times 1.5 \text{ RS/KWH} \\ \approx 2,500 \text{ RS/月} \end{aligned}$$

(c) 固定料金

$$200 \text{ RS/月}$$

従って、1ヶ月の電力料金は、

$$(a) + (b) + (c)$$

維持管理運営費資料

$$= 59,800 \text{ RS/月} + 46,800 \text{ RS/月} + 2,500 \text{ RS/月} + 200 \text{ RS/月}$$

$$= 109,300 \text{ RS/月}$$

$$\text{一年間では、} 109,300 \text{ RS/月} \times 12 \text{ ヶ月} = 1,311,600 \text{ RS/年}$$

5 教育訓練機材リスト

教育訓練機材リスト

番号	訓練機材項目	数量	備考
A	電子工学実験室（ラジオ、音響機器修理コースを含む）		
1	パルス回路実験装置	1	
2	半導体実験装置	1	
3	自動電圧調整器	1	
4	整流器	1	
5	パターン発振器	2	
6	スイープマーカ－発振器	2	
7	低周波発振器	5	
8	信号発生器	2	
9	F Mステレオ信号発生器	1	
10	テストオシレータ	5	
11	直流安定化電源	5	
12	オシロスコープ	2	
13	シンクロスコープ	2	
14	誘導器	3	
15	抵抗減衰器	3	
16	増幅器	2	
17	万能ブリッジ	1	
18	ホイーストンブリッジ	2	
19	交流ブリッジ	2	
20	ダブルブリッジ	2	
21	トランジスター試験器	2	
22	カーブトレーサー	1	
23	Qメーター	1	
24	Cメーター	1 set	
25	A M小型送受信器	1	

番号	訓練機材項目	数量	備考
26	ラジオ受信器 (1バンド) (2バンド) (3バンド)	4 3 3	
27	テレビ受像器 (20"カラー) (14"カラー) (17"白黒) (14"白黒)	2 1 2 1	
28	スピーカー	1	
29	ステレオセット	1	
30	ポータブルテープレコーダー	2	
31	電子計算機	2	
32	携帯用高周波電流計	5	
33	携帯用直流電圧計	5	
34	携帯用直流電流計	5	
35	携帯用交流電圧計	5	
36	携帯用交流電流計	5	
37	回路試験器	10	
38	検流計	2	
39	絶縁抵抗計	3	
40	周波数計	2	
41	標準抵抗器	3	
42	普通騒音計	2	
B 電気製品組立修理コース			
1	トランジスター回路実験装置	1	
2	シーケンス回路実験装置	1	
3	半導体実験装置	1	
4	論理回路実験装置	1	
5	カラーテレビ実習装置	1	
6	テストオシレーター	1	
7	パターングェネレーター	2	

番号	訓練機材項目	数量	備考
8	スイープジェネレーター	2	
9	オシロスコープ	2	
10	シンクロスコープ	2	
11	ホイーストブリッジ	3	
12	ダブルブリッジ	3	
13	電気釜	2	
14	トースター	2	
15	扇風機	2	
16	洗濯機	2	
17	冷蔵庫	2	
18	ウォーターポンプ	2	
19	サーボモーター	1	
20	巻線機 自動巻線機	1 1	
21	乾燥器	1	
22	標準電圧計	1	
23	標準電流計	1	
24	標準電力計	1	
25	周波数計	1	
26	力率計	1	
27	回路試験器	1	
28	直流電位差計	1	
29	携帯交流電圧計	5	
30	携帯交流電流計	5	
31	携帯直流電圧計	5	
32	絶縁抵抗計	5	
33	力率計	5	
34	周波数計	2	
35	温度計	3	

番号	訓練機材項目	数量	備考
36	湿度計	2	
37	接地抵抗計	1	
38	回転計	5	
39	ストップウォッチ	3	
40	ユニバーサルテスター	2	
C 電子工学コース			
1	普通旋盤	1	
2	足踏シャー	1	
3	レバーシャー	1	
4	卓上ボール盤	1	
5	両頭グラインダー	1	
6	電気ドリル	1	
7	工具類その他	L.S	
D 冷蔵庫・空調機修理コース			
1	空気調和実験装置	1	
2	冷凍冷房性能実験装置	1	
3	チラーユニット	1	
4	ファンコイルユニット	3	
5	パッケージ型空調機	2	
6	セパレート型空調機	2	
7	ウィンドー型空調機	2	
8	冷凍ショーケース	1	
9	送風機	1	
10	部品洗浄機	1	
11	交流アーク溶接機	1	
12	ホットジェット溶接機	1	

番号	訓練機材項目	数量	備考
13	溶接棒乾燥機	1	
14	足踏シャー	1	
15	はぜ折機	1	
16	管ネジ切機	1	
17	管切断機	1	
18	卓上ボール盤	2	
19	両頭グラインダー	1	
20	ポータブルグラインダー	3	
21	電気ドリル	3	
22	電気ハンマードリル	2	
23	高速砥石切断機	1	
24	空気圧縮機	1	
25	移動式クレーン	1	
26	その他工具類		
E	コンピューターコース		
1	パソコン	26	
2	パソコン キーボード	26	
3	パソコン カラーモニター	26	
4	ペンライター	26	
5	プリンター	26	
6	コンピューター実験装置	2	
F	ビデオ製作		
	【スタジオ機材】		
1	三管式カラービデオカメラ	3	
2	同上用5インチビューファインダー	3	
3	フレキシブルコード	3	

番号	訓練機材項目	数量	備考
4	ドーリー付三脚	3	
5	コミュニケーションヘッドセット	3	
6	カメラケーブル	3	
7	カラービデオモニター20"	1	
8	モニタースタンド	1	
9	モニタースピーカー	2	
10	コンデンサーマイクロフォン	2	
11	コンデンサーマイクロフォンC-76	2	
12	エレクトレットコンデンサーマイクロフォン	2	
13	ダイナミックマイクロフォン	2	
14	マイクケーブル50M	6	
15	マイクスタンド	2	
16	マイクロフォンブームスタンド	2	
17	マイク用クレイドルサスペンション	2	
18	マイク用スタンドポール	2	
19	音響/映像コード30M	1	
20	スタジオ制御盤	1	
21	スタジオ照明	1	
【コントロール室】			
22	カメラ制御ユニット	3	
23	カメラアダプター	3	
24	ラックマウントメタル	3	
25	カメラケーブル	3	
26	13インチモニターテレビ	3	
27	収納棚	1	
28	ビデオディストリビューションアンプ	3	
29	波形モニター	1	
30	ベクトルスコープ	1	

番号	訓練機材項目	数量	備考
31	ラックマウント	1	
32	切換スイッチ	1	
33	13" モニターテレビ	1	
34	マウントアタッチメント	1	
35	特殊効果装置	1	
36	ワイプパターンエクステンダー	1	
37	クロマキーヤー	1	
38	接続ケーブル	8	
39	13" ビデオモニター	2	
40	コンソールラック	1	
41	ビデオ接続ケーブル	1	
42	インターコミュニケーションヘッドセット	2	
43	V/Aスイッチャー	1	
44	パル信号発生器キット	1	
45	V/Aディストリビューター	1	
【テロップシステム】			
46	白黒ビデオカメラ	1	
47	マニュアルズームレンズ	1	
48	クローズアップレンズ	1	
49	エステンションケーブル	1	
50	コピースタンド	1	
51	9" 白黒モニターテレビ	2	
52	テロップ付属機器	1	
53	テロップコンソールラック	1	
54	ビデオタイプライター	1	
55	タイプ用9" モニターテレビ	2	
56	コンソールデスク	1	
57	ビデオケーブル	1	

番号	訓練機材項目	数量	備考
【音響調整】			
58	音声用ミキサー	1	
59	オーディオアンプ	2	
60	スピーカー	2	
61	オーディオコンソール	1	
62	マイクケーブル	10	
63	カセットテープレコーダー	1	
64	ステレオヘッドフォン	1	
【編集室】			
65	ユーマチックビデオ編集機	1	
66	ユーマチックビデオ編集機	2	
67	モニター接続ケーブル	2	
68	V/Aスイッチャー	1	
69	リモート制御ケーブル	1	
70	タイムコード編集機	1	
71	ラックマウント	3	
72	タイムコードジェネレーター	3	
73	ビデオインターフェースボード	3	
74	デジタルTBC	2	
75	カラービデオモニター	3	
76	マイクケーブル	1	
77	ビデオ編集用コンソール	1	
78	ビデオ/オーディオケーブル	1	
【ニュース取材システム】			
79	三管式カラーカメラ	1	
80	カメラ用延長ケーブル	1	
81	ポータブルビデオカセット録画機	1	

番号	訓練機材項目	数量	備考
8.2	バッテリーパック	4	
8.3	バッテリー充電器	1	
8.4	A C電源アダプター	1	
8.5	屋外用三脚	1	
8.6	運搬ケース	1	
8.7	三脚用運搬ケース	1	
8.8	ダイナミックマイク	1	
8.9	バッテリーパック	4	
9.0	バッテリー充電機	1	
9.1	タイムコードジェネレーター	1	
【備 品】			
9.2	KCA-60K ユーマチックビデオカセットテープ	20	
9.3	KCA-30K ユーマチックビデオカセットテープ	50	
9.4	KCS-20K ユーマチックビデオカセットテープ	60	
9.5	HF-60 ローノイズオーディオカセットテープ	100	
G 家庭科コース			
1	ミシン(足踏)	10	
2	電動ミシン	3	
3	工業用ミシン	2	
4	穴かがり用具	3	
5	洋裁用具セット(教師用)	3	
6	洋裁用具セット(生徒用)	10	
7	アイロン	5	
8	アイロン台	5	
9	裁ちばさみ	15	
10	ピンキングはさみ	3	
11	ハンガー	10	
12	鏡	3	

番号	訓練機材項目	数量	備考
13	入台	3	
14	調理実習台	2	
15	電気オーブン	2	
16	電気釜	2	
17	冷蔵庫	1	
18	ジューサー・ミキサー	1	
19	調理用鍋類	2	
20	調理器具	2	
21	まな板・包丁	2	
22	食品セット	2	
23	ティーセット	2	
24	計量器セット	2	
25	キッチンスケール	2	
H	語学研修室		
1	マスターコンソール	1	
2	コンソールデスク	1	
3	サイドパネル	2	
4	コンパクトカセットデッキ	2	
5	オープンリールマスターデッキ	1	
6	リモートコントロールユニット	1	
7	コンソールデスク		
8	ブースアンプ	32	
9	ヘッドセット	32	
10	スピーカー	2	
11	電源ユニット	2	
12	ブース仕切パネル	16	
13	リモコンケーブル	4	

番号	訓練機材項目	数量	備考
14	据付工事材料	1	
15	カセットテープ	200	
16	システム組立工具保守工具	1	
I	体育機材		
1	バスケットボール台 DD-0300	1	
2	卓球台 DH-0100	2	
3	柔道畳及畳寄せ枠(128畳用) EA911070+EA0310	1	
4	体操マット(1.2M×3M) AM-2100	6	
5	レスリングマット(12M×12M)ノンスリップ型	1	
6	バレーボール用支柱(屋内用移動式) DE-9010	2	
7	サッカーゴール DJ-0300	1	
8	アブドミナルボード BB-1210	1	
9	リストトレーナー BB-3100	1	
10	チェストウエイト BB-2500	1	
11	バックネット(屋外用) DJ-3000	1	
12	身長計 LA-9010	1	
13	座高計 LA-9210	1	
14	体重計 LA-9100	1	
15	握力計 LB-9011	1	
16	背筋力計 LB-9101	1	
17	マルチン式人体測定器 LA-9300	1	
18	ポール旗立てセット LC-9300	1	
19	肺活量計 LE-9011	1	
20	フリッカー値測定器 LZ-9011	1	
21	昇降台 LC-1000	1	
22	サージャントジャンプメジャー LC-0100	1	
23	伏臥上体そらし測定器 LC-9101	1	

教育訓練機材リスト

番号	訓練機材項目	数量	備考
24	立位体前屈測定器 LC-9201	1	
25	血圧計 LB-9101	1	
26	ジャンプメーター LC-9011	1	
J 大セミナー室			
1	16mm映写機	1	
2	スライドプロジェクター	1	
3	OHP	1	
4	電動スクリーン	1	
5	三脚スクリーン	1	
6	テープスプライサー	1	
7	フィルム巻返し機	1	